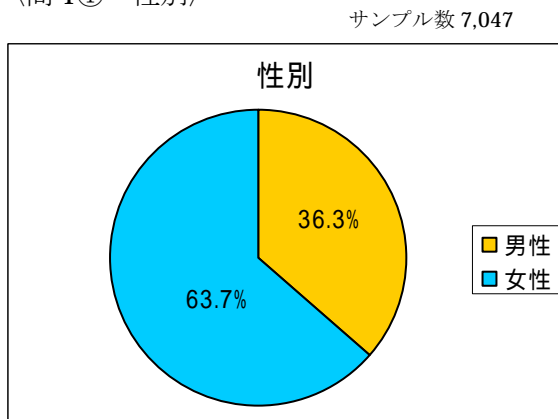


住民アンケート調査分析

単純集計

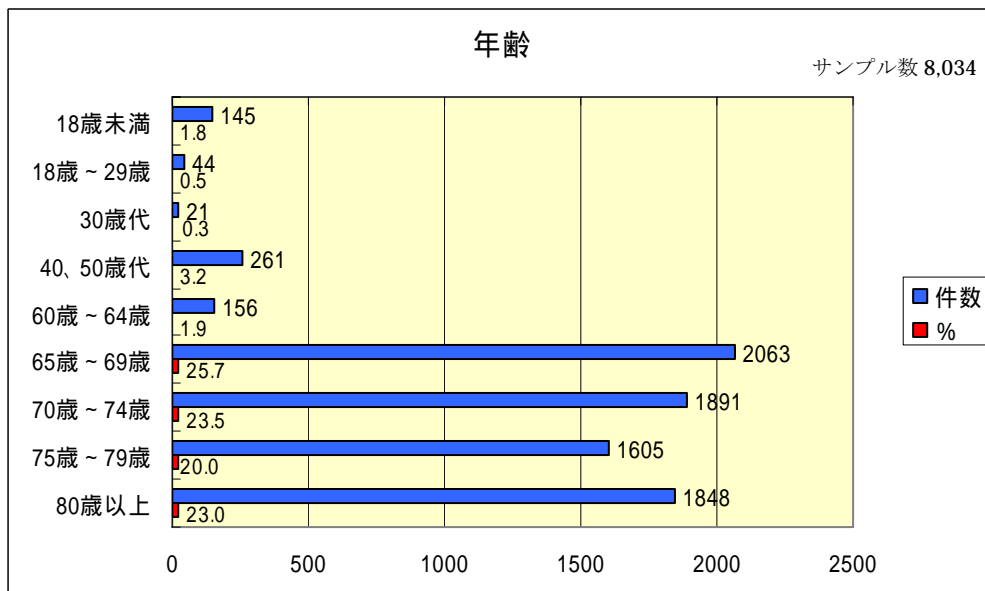
集計のうち百分率は小数点第2位以下を四捨五入しているため合計の数値が100%とならないこともある。

〈問1① 性別〉



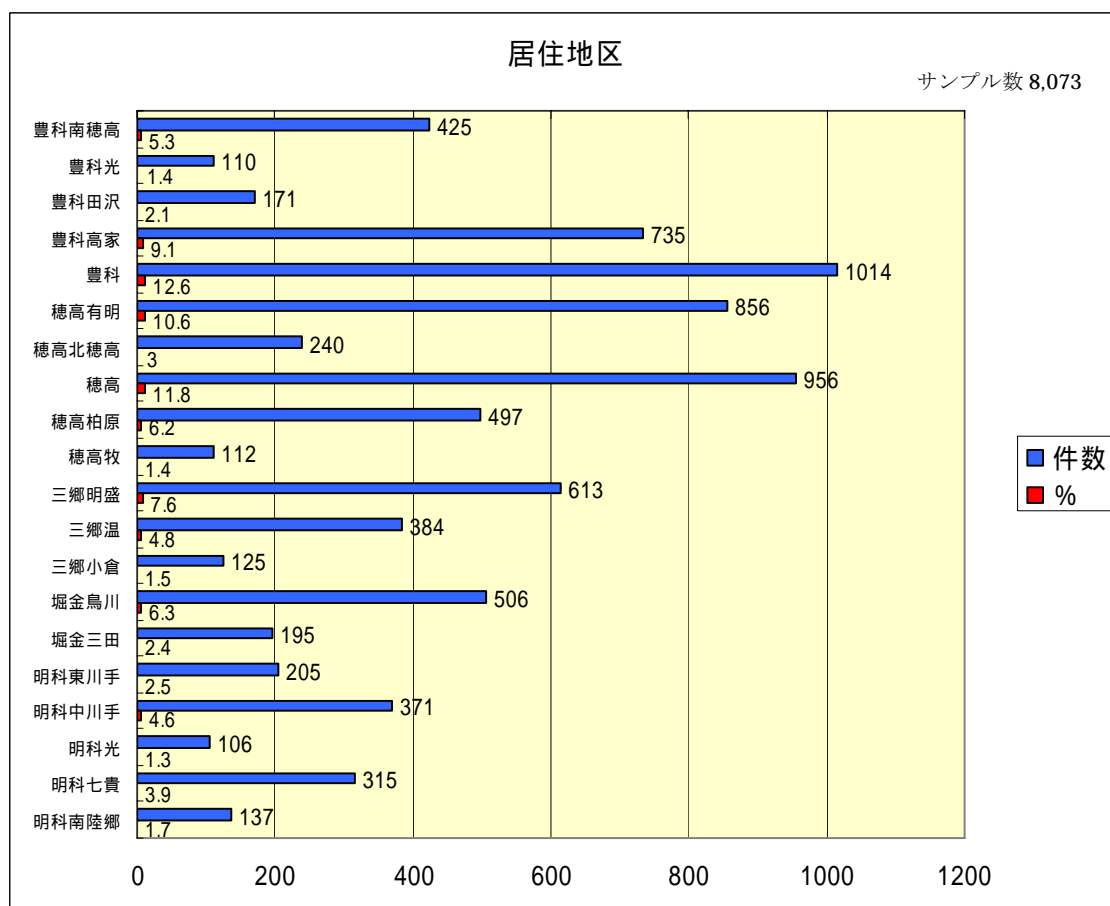
回答者の性別は男性が36.3%、女性が63.7%で女性からの回答が男性を大きく上回った。調査主旨に関する関心の度合いが女性においてより強いことを示した。

〈問1② 年齢〉



回答者の年齢は「65～69歳」が25.7%、次いで「70～74歳」が23.5%、「80歳以上」が23.0%、「75～79歳」が20.0%の順であった。65歳以上の高齢者からの回答が全体の92.2%(75歳以上の後期高齢者は43.0%)にも達しており、高齢者の関心の深さがうかがえる。

〈問 1 ③ 居住地区〉



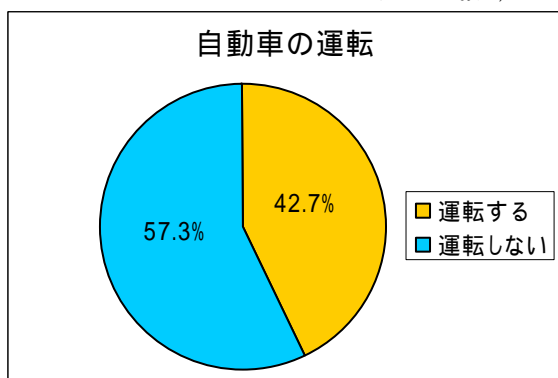
回答者の居住地区は「豊科」が 12.6%で最も多く、次に「穂高」11.8%、「穂高有明」10.6%、「豊科高家」9.1%の順となる。旧町村区分で見ると「豊科」計 30.4%、「穂高」計 33.0%、「三郷」計 13.9%、「堀金」計 8.7%。「明科」計 14.0%となった。それぞれの地域の人口数の市全体に占める比率と総回答数の中でそれぞれの地域が占める回答数の比率を表に示す。

地域名	市全体に占める人口比率 %	総回答件数に占める回答比率 %
豊科	30.4	28.9
穂高	33.0	33.3
三郷	13.9	18.6
堀金	8.7	9.3
明科	14.0	9.9

人口比より回答比が高かった地域は「穂高」、「三郷」、「堀金」であり、その中では「三郷」の回答比が高い。逆に低かった地域は「豊科」、「明科」であり「明科」の回答比は特に低い。(人口比率は平成 17 年度国勢調査時の資料による)

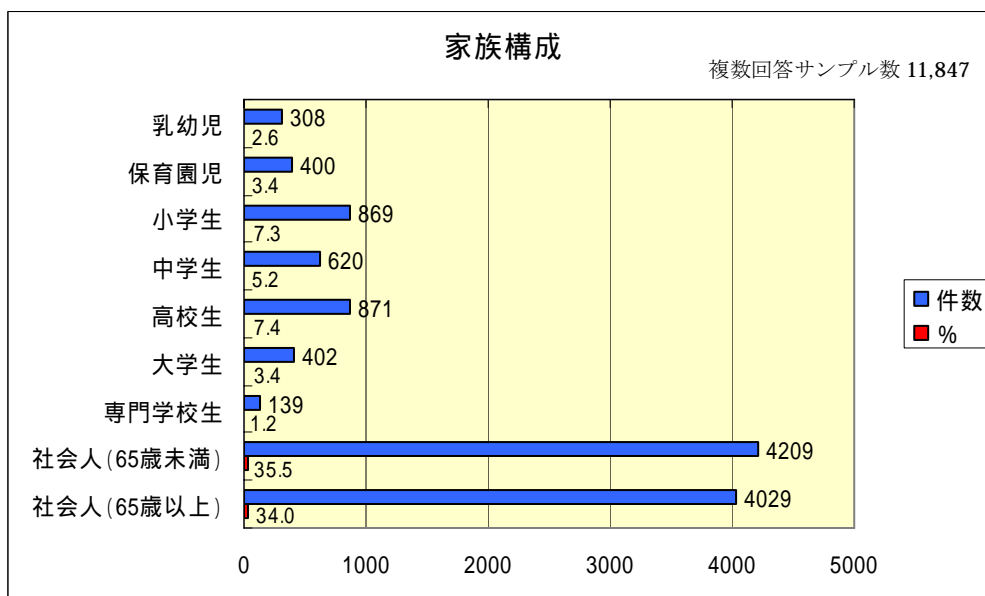
〈問 1④ 自動車の運転〉

サンプル数 7,847



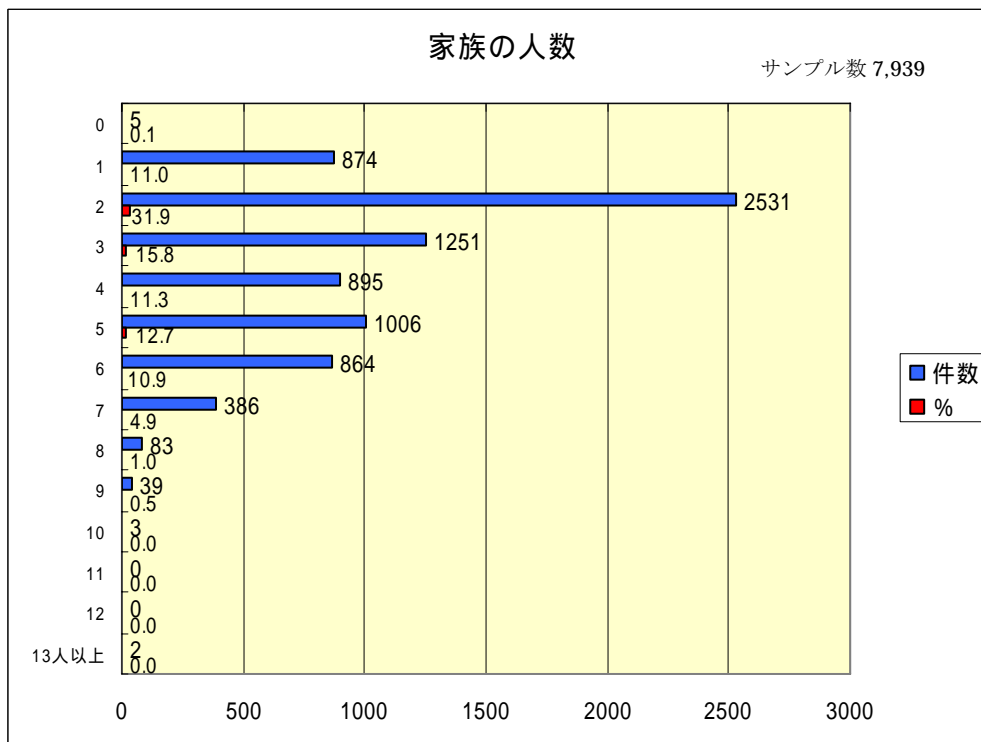
自動車は 42.7%が「運転する」、57.3%が「運転しない」で、「運転しない」が過半数を超えたが、回答者のほとんどが高齢者であり、しかも女性が多かった割には「運転する」率は高い。

〈問 1⑤ 家族構成〉



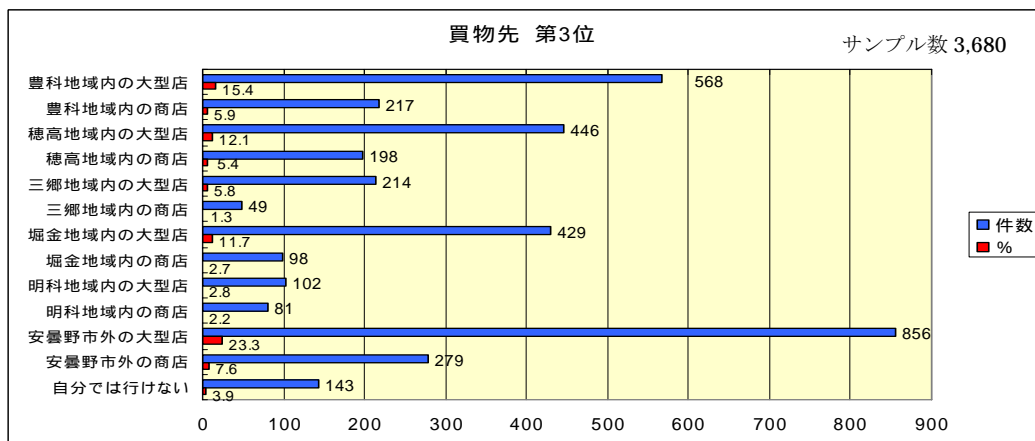
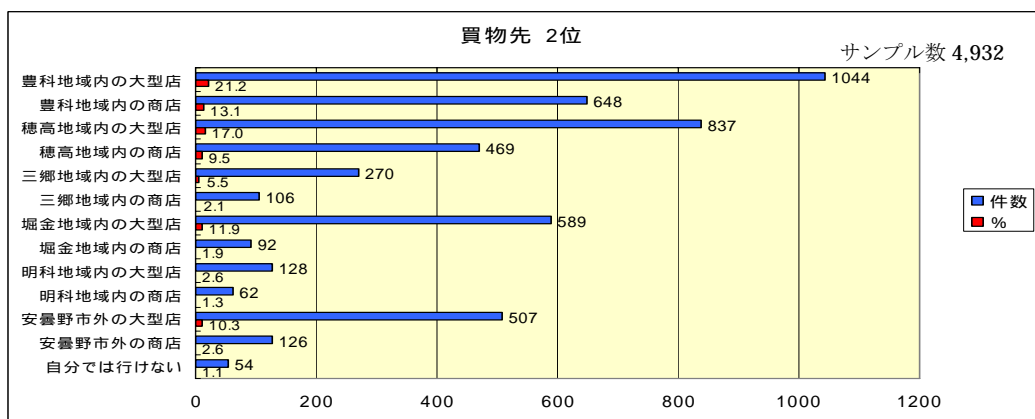
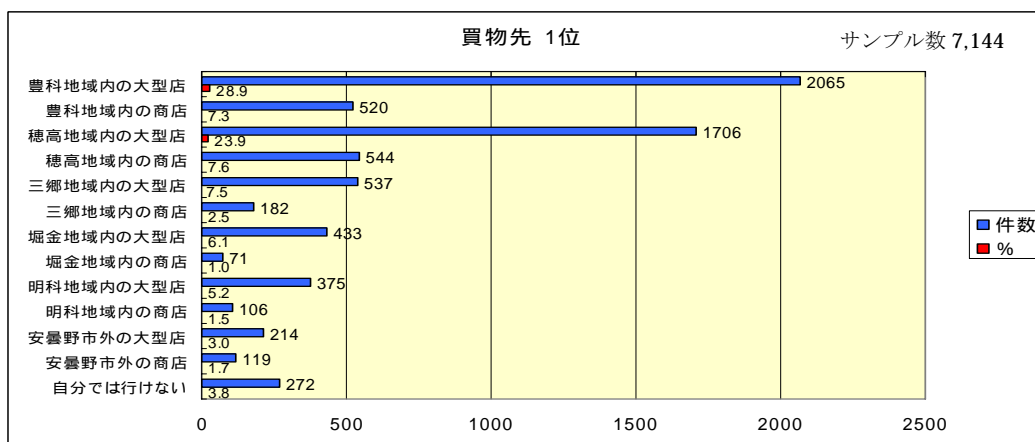
調査対象が 65 歳以上の高齢者がいる世帯を中心として抽出したため、社会人(65 歳以上)の家族構成に占める割合は 34.0%と高い。社会人(65 歳未満)の 35.5%と合わせ家族構成の約 7 割が社会人となっている。

〈問 1⑤ 家族人数〉



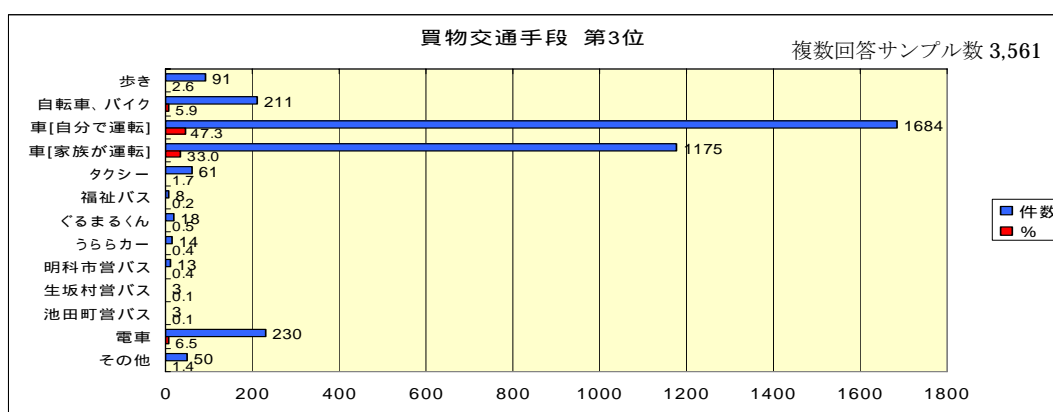
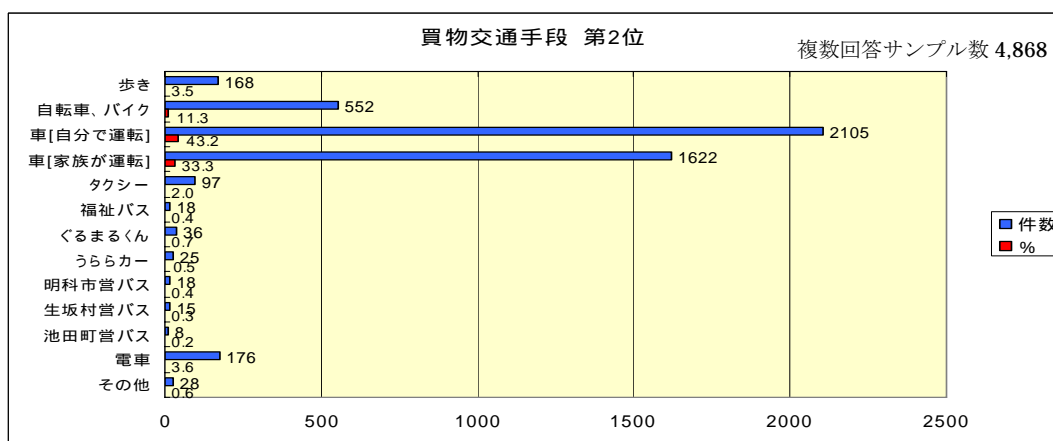
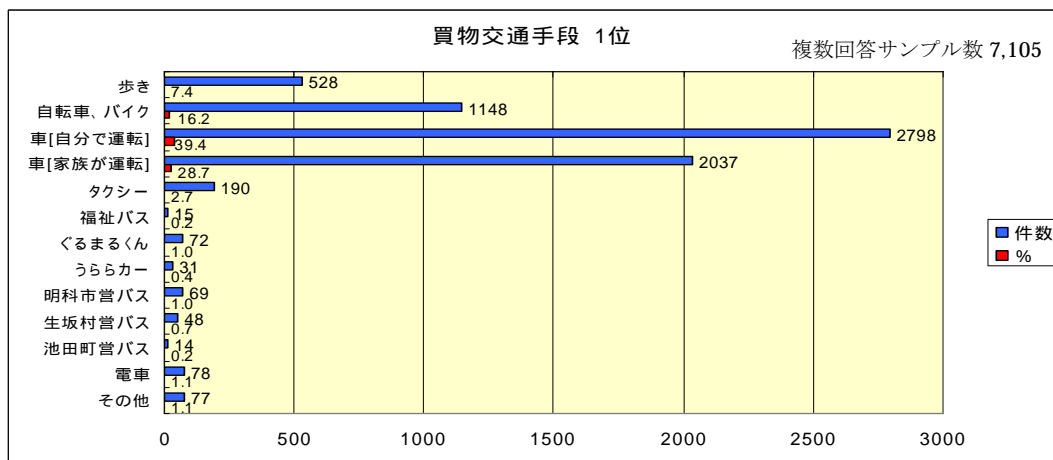
家族人数は「2人」が31.9%で最も多く、次いで「3人」が15.9%、「5人」が12.7%、「4人」が11.3%の順となった。「1人」暮らしも11.0%と多い。少人数家族の世帯が中心で家族数3人までが全体の58.9%、4人までが全体の70.2%を占めている。

〈問 2 普段の買物 買物先〉



普段の買物先で大型店が選択された率の合計は第1位で74.6%、第2位で68.5%、第3位で71.1%であり、概ね7割の回答者は大型店で普段買物をしていることが分かる。市外に流出する割合は第1位で4.7%、第2位で12.9%、第3位で30.9%あり、回答者はまず地元での買物を優先し次の選択で市外を選ぶ傾向が強かった。また、買物先1位では唯一「豊科」地域のみが地域の市に占める人口比(28.9%)を超えて選択され(大型店商店合わせて36.2%)この地域が他地域からの購買客を受け入れていることが分かる

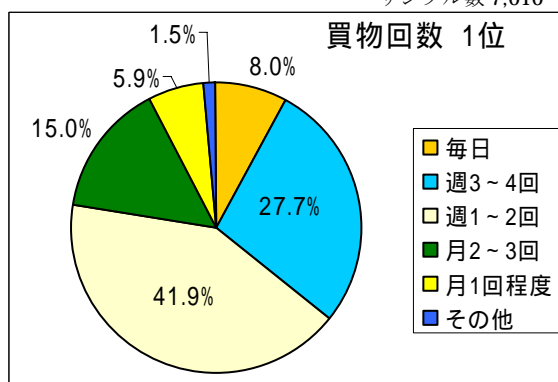
〈問2 普段の買物 交通手段〉



買物の交通手段として自動車を利用する率は非常に高い。第1位では(自分で運転)及び(家族が運転)が合わせて68.1%あるが次選択になるほど数値は増し、第2位で76.5%、第3位で80.3%となった。それに伴い「歩き」や「自転車・バイク」利用の選択率は低下している。福祉バス等市の施策にかかるバス等の利用は極端に少なく第1位で合わせて3.5%、第2位で2.5%、第3位で1.7%であった。選択順位が下がるほど「電車」の利用も多くなり第1位で1.1%であるが第3位では6.5%となった。

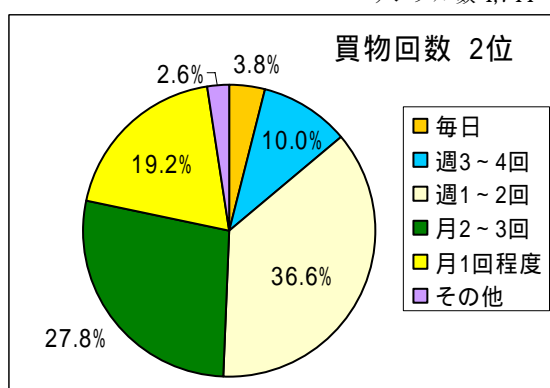
〈問2 普段の買物 お出かけ回数〉

サンプル数 7,010

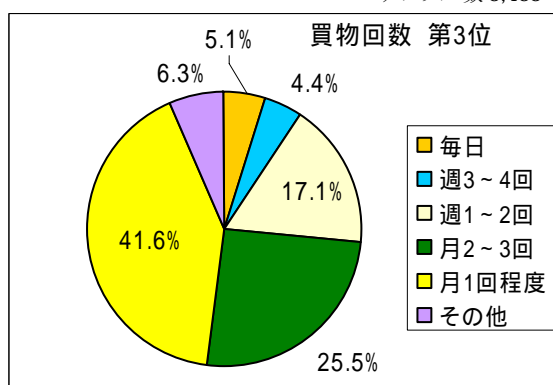


買物に出かける回数は「毎日」(第1位 8.0%)は少なく、「週1~2回」(第1位 41.9%)や「週3~4回」(第1位 27.7%)程度の頻度である。選択順位が下がるほど買物頻度は少なくなる傾向が見え、第3位では「月1回程度」が41.6%で最も多くなった。

サンプル数 4,744



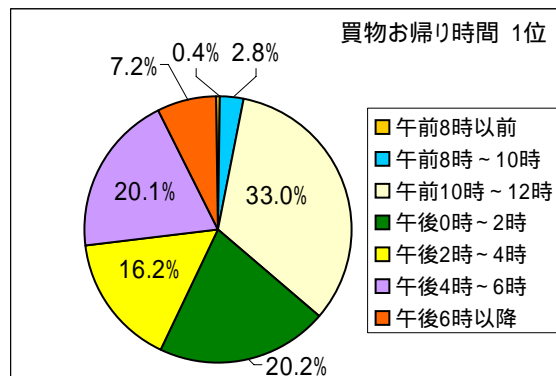
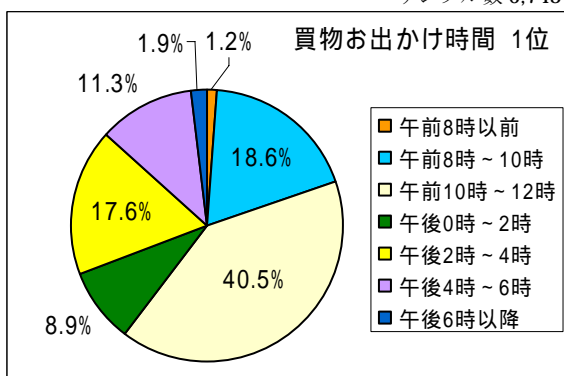
サンプル数 3,483



〈問 2 普段の買物 お出かけ時間、お帰り時間〉

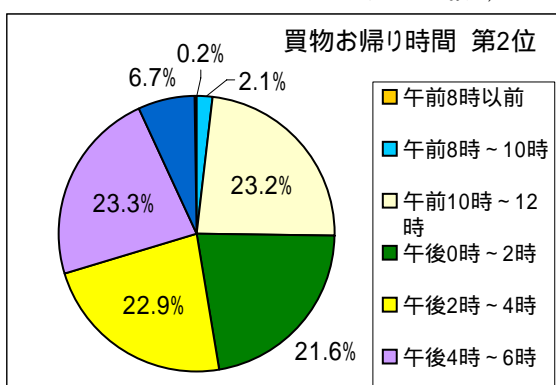
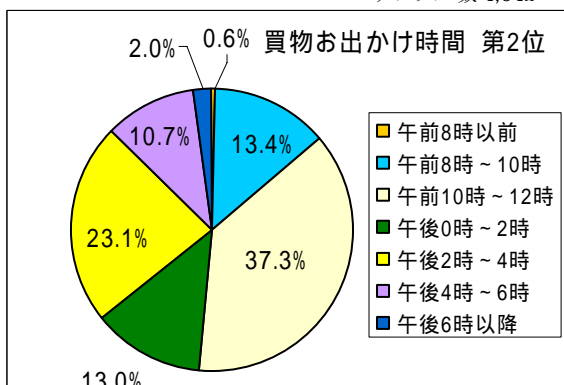
サンプル数 6,743

サンプル数 6,370



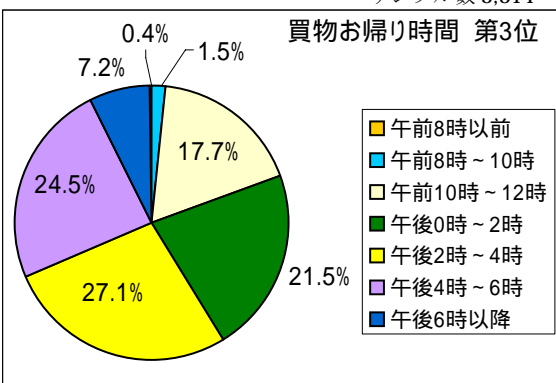
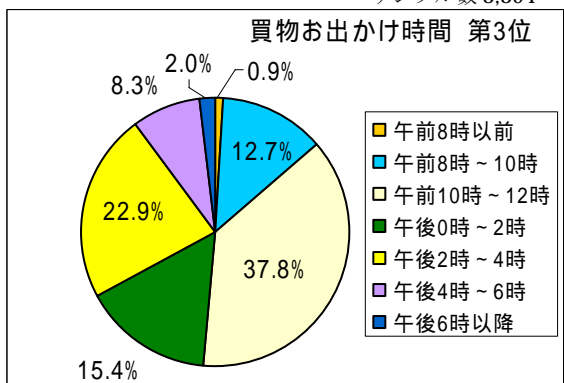
サンプル数 4,642

サンプル数 4,514



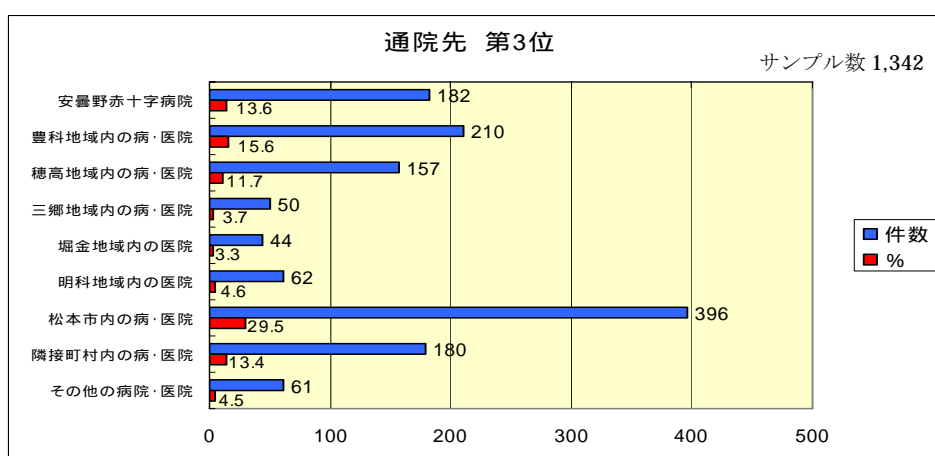
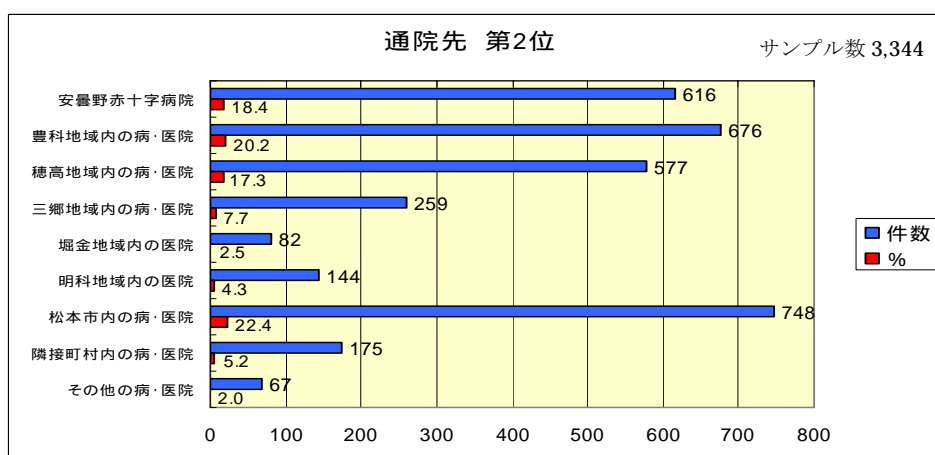
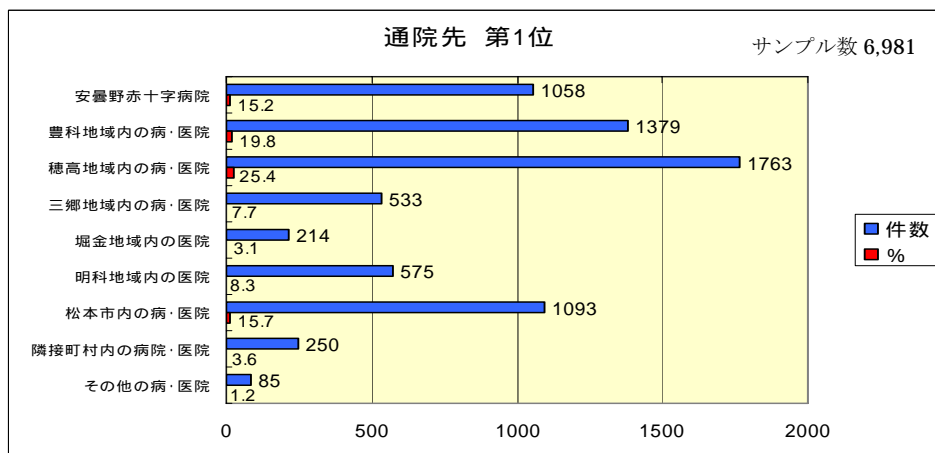
サンプル数 3,394

サンプル数 3,314



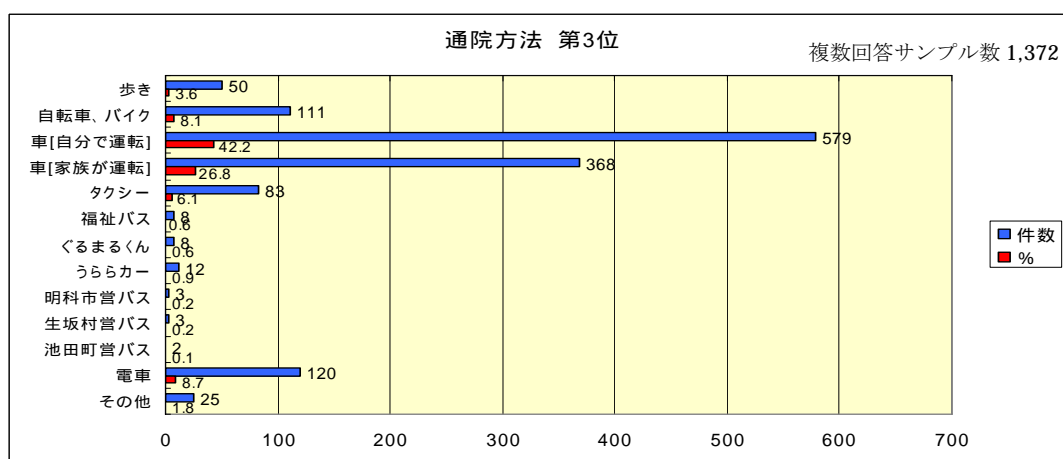
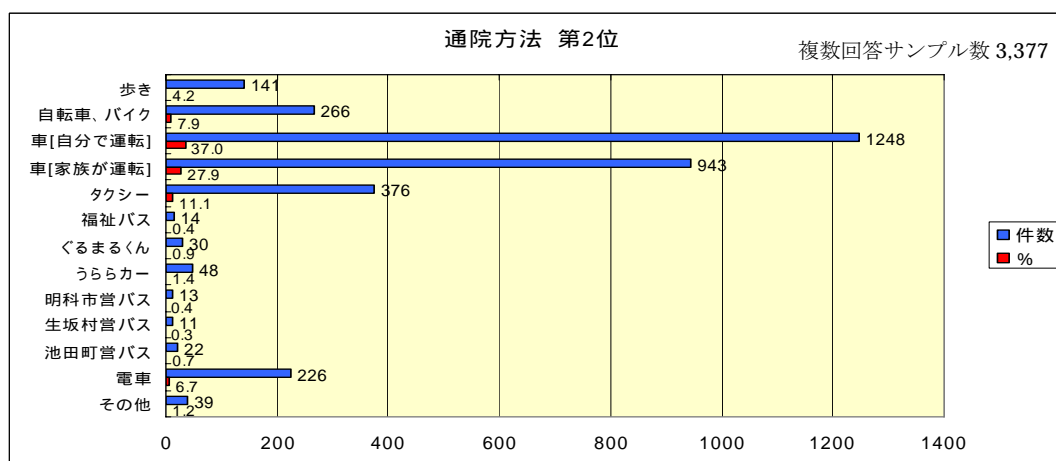
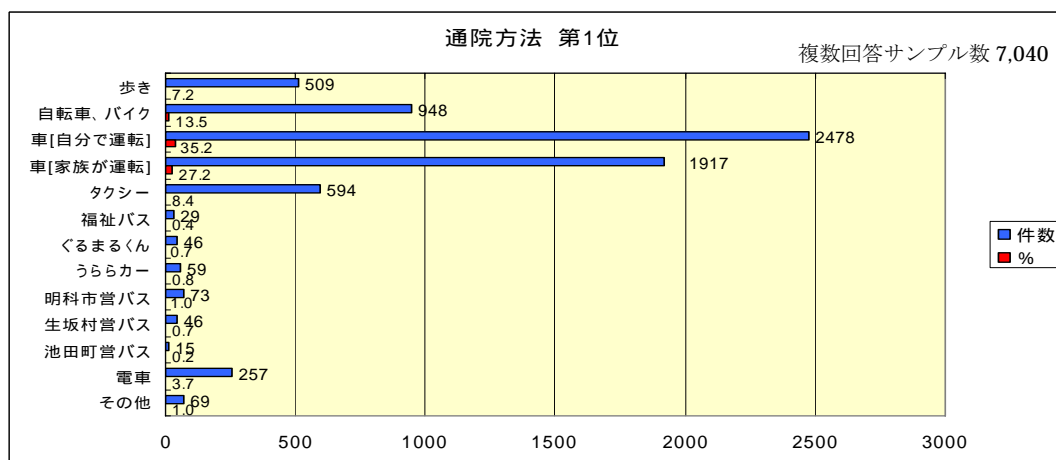
買物へ出かける時間帯は「午前10時～12時」までの午前中遅めの時間帯が多く、極端に早い時間帯や「午後6時以降」の遅い時間帯はほとんどない。これは第1位から第3位までで共通している。帰りの時間帯も「午前10時～12時」や「午後0時～2時」までの早い時間帯が多い。ただ、第1位にある「午前8時～10時」(2.8%)や「午後6時以降」(7.2%)の選択は順位が下がると少なくなり、全般に遅めの時間帯が選ばれた率が多い。

〈問 2 通院 通院先〉



通院先は、第1位で「穂高地域内の病・医院」が最も多く選択されたが第2位ではこれが「松本市内の病・医院」と置き換わる。市内の病・医院選択合計は第1位で79.5%あり安曇野市内での受療率は高いが順位が下がるにつれ市外、特に松本市内の病・医院選択率が高まり、第3位での市内の病・医院選択合計は52.5%である。

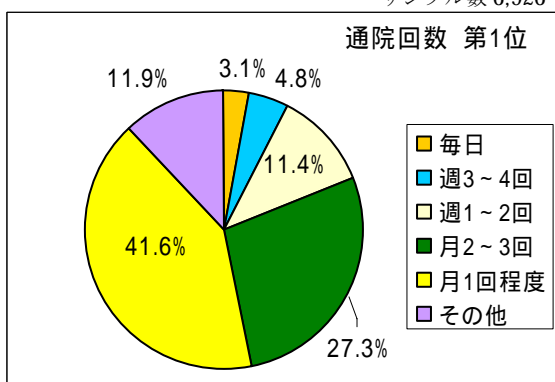
〈問 2 通院 通院方法〉



通院の交通手段も自動車であることが圧倒的に多く、車(自分で運転)及び(家族が運転)は第1位で合わせて62.4%あるが買物の際の68.1%よりは数値が下がった。その分「タクシー」利用(8.4%)が多くなる。(買物では2.7%)福祉バス等市の施策にかかるバス等の利用はここでも少なく第1位では合わせて3.8%である。

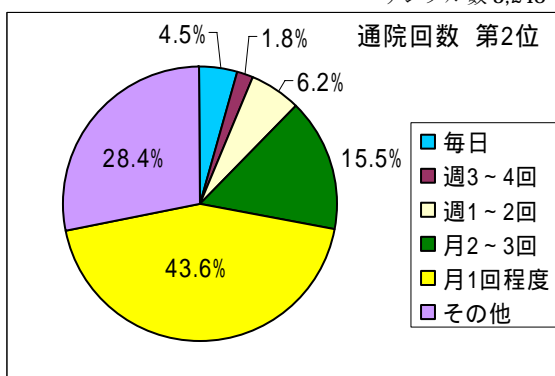
〈問 2 通院 通院回数〉

サンプル数 6,926

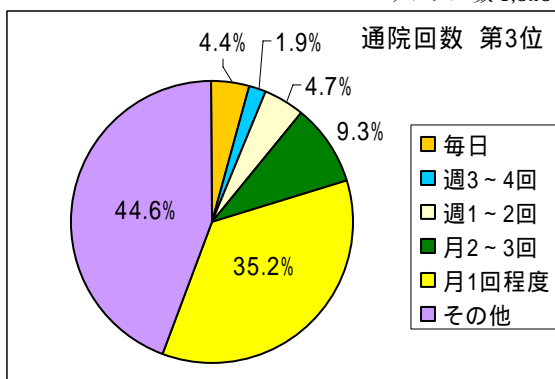


通院回数は「毎日」(第1位で3.1%)や「週3~4回」(同3.8%)は少数で、「月1回程度」(同41.6%)や「月2~3回」(同27.3%)が主となっている。

サンプル数 3,248



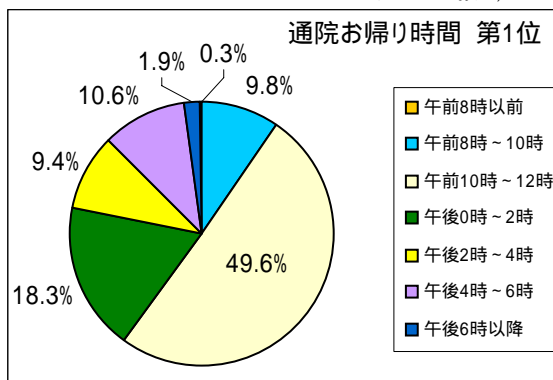
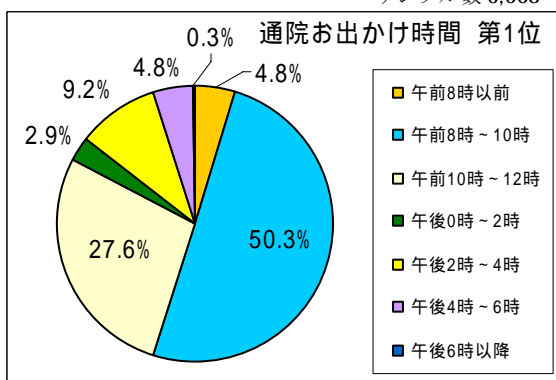
サンプル数 1,328



〈問 2 通院 お出かけ時間、お帰り時間〉

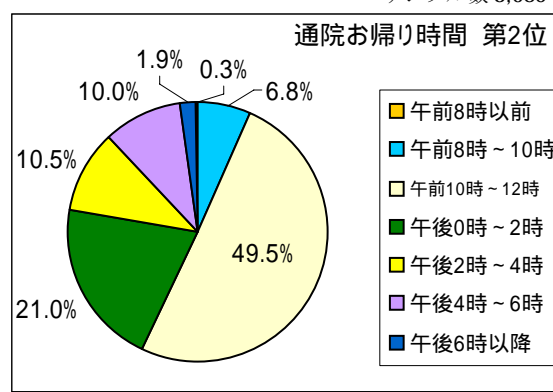
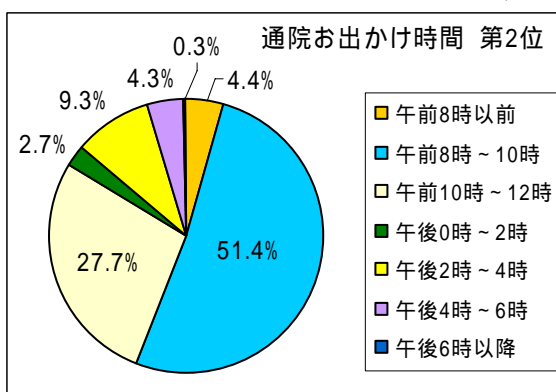
サンプル数 6,663

サンプル数 6,252



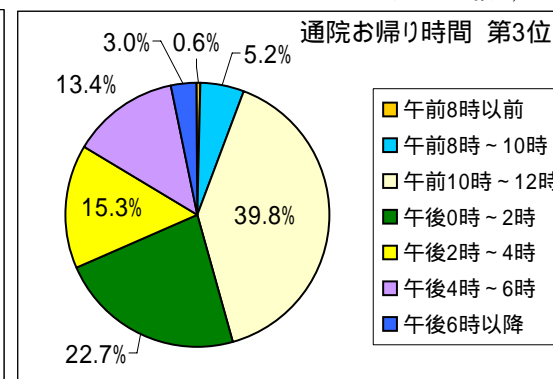
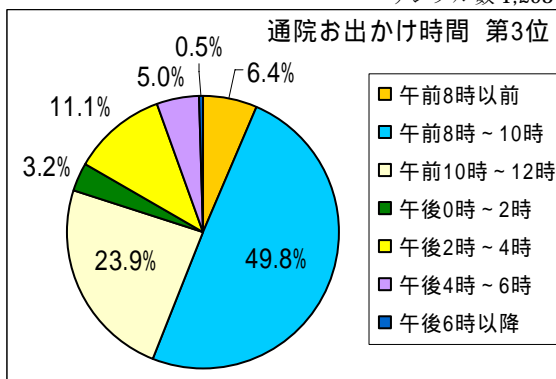
サンプル数 3,167

サンプル数 3,085



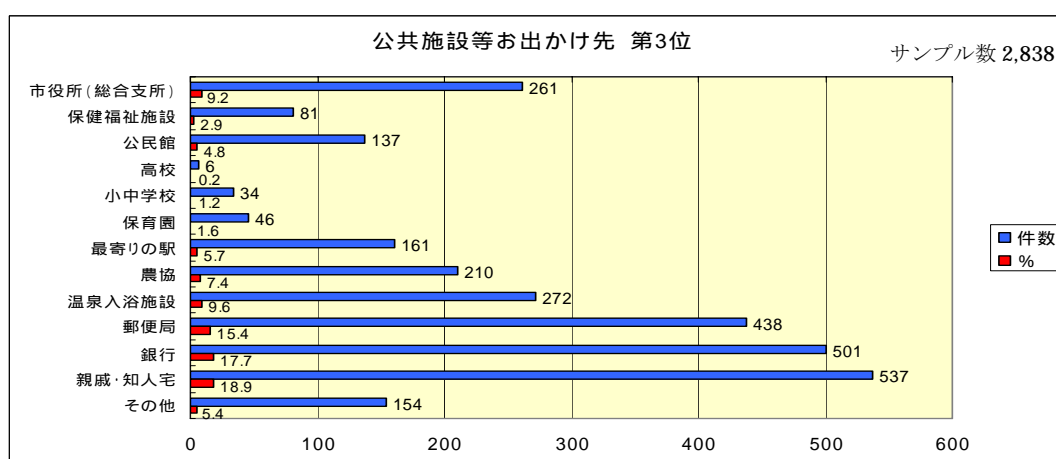
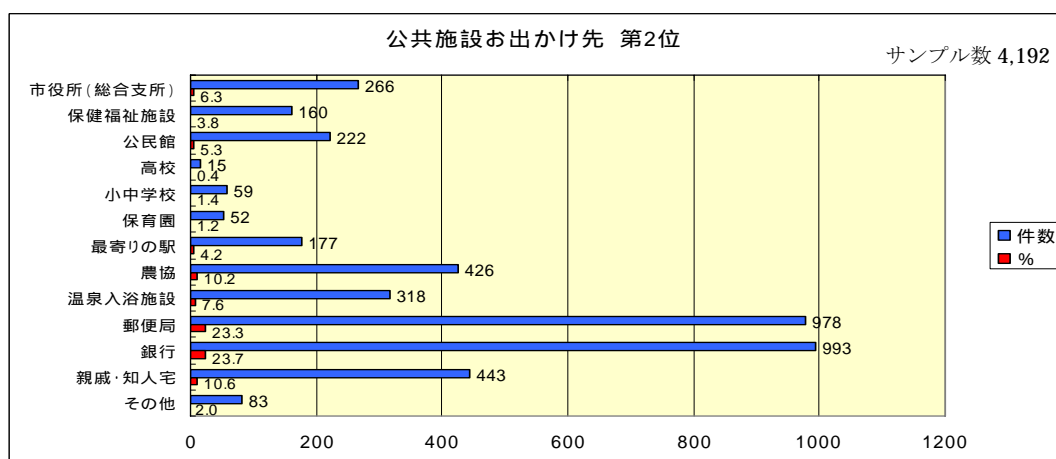
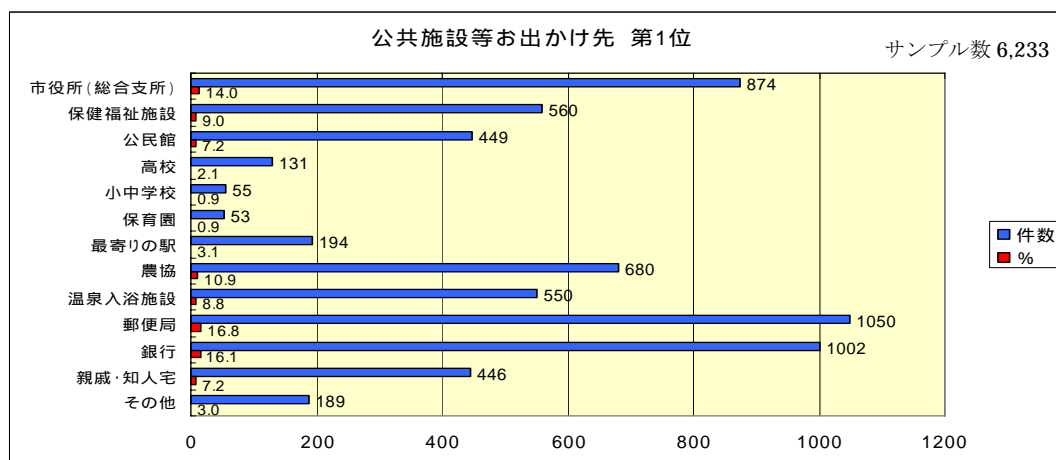
サンプル数 1,293

サンプル数 1,272



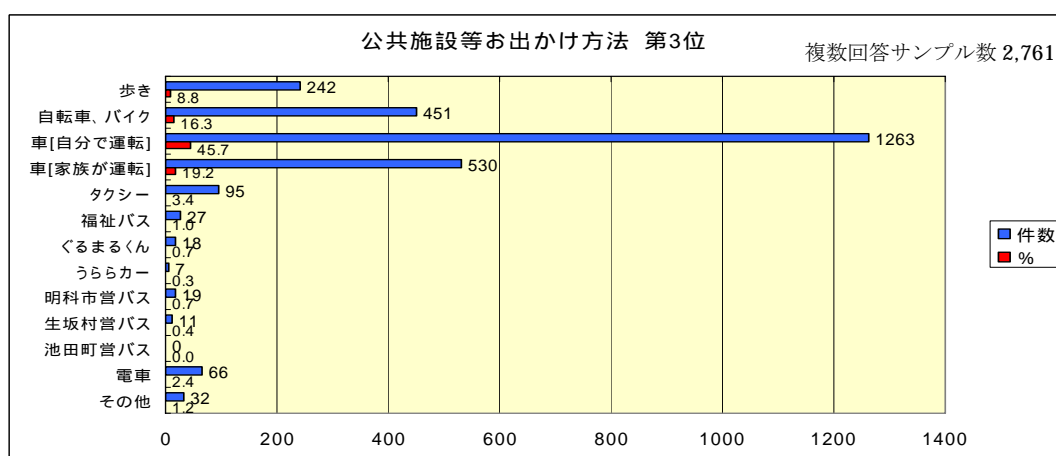
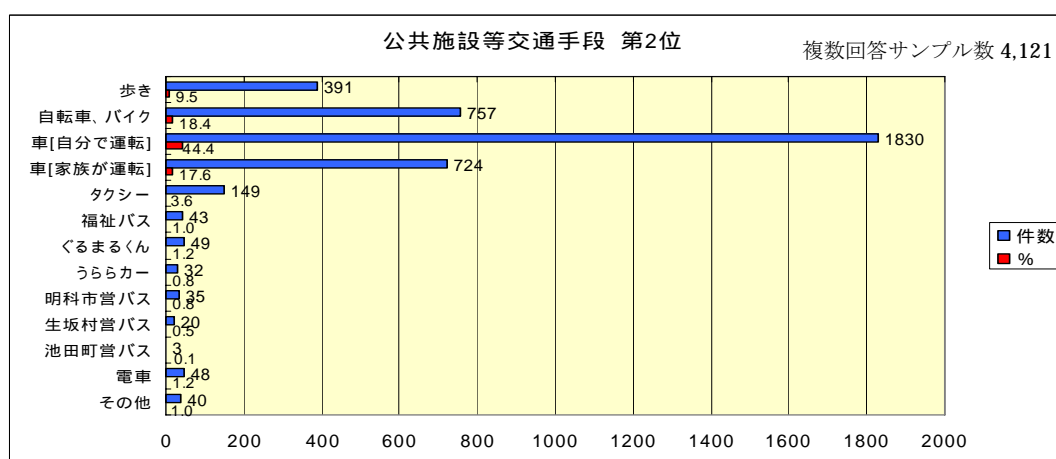
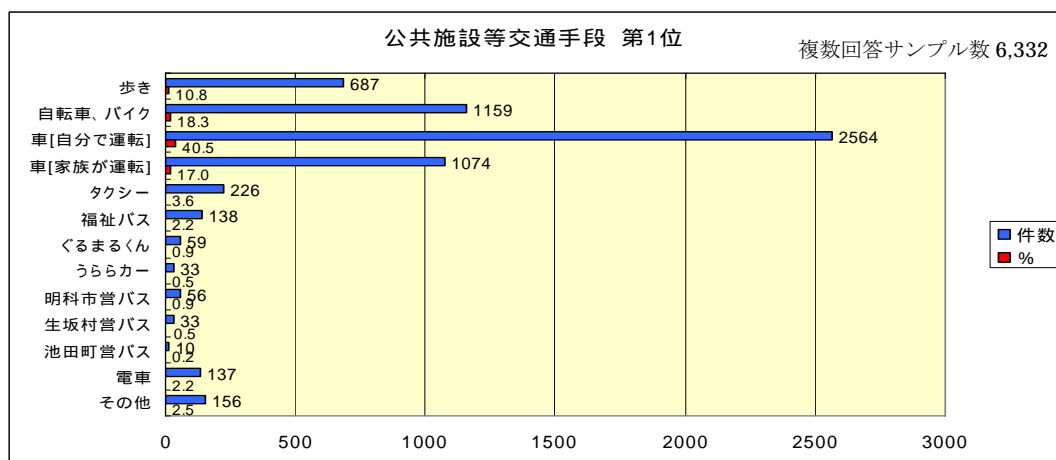
通院に出かける時間帯は「午前 8 時～10 時」までが 50%程度、次に「午前 10 時～12 時」までが 25%程度あり、午前中の時間帯全てを合わせると全体の約 8 割がお昼までに通院に出かかっている。これは第 1 位から第 3 位まで同様の傾向である。帰りの時間帯も半数近くは「午前 10 時～12 時」を選び、「午後 0 時～2 時」の時間帯には約 2 割の選択がある。「午後 2 時～4 時」の時間帯を含めると全体の約 7 割前後は午後 4 時までに通院から帰宅している。

〈問 2 公共施設等 お出かけ先〉



公共施設等お出かけ先は「郵便局」、「銀行」等の金融機関が第1位から第3位までのいずれでも高い率で選択された。次に多いのは第1位では「市役所(総合支所)」第2位では「親戚・知人宅」で、第3位ではこの「親戚・知人宅」が最も多い選択となった。また「温泉入浴施設は」低順位になるほど選択された率が高い。高齢の回答者が多かったためか「小中学校」などの学校施設が選ばれた率は低い。

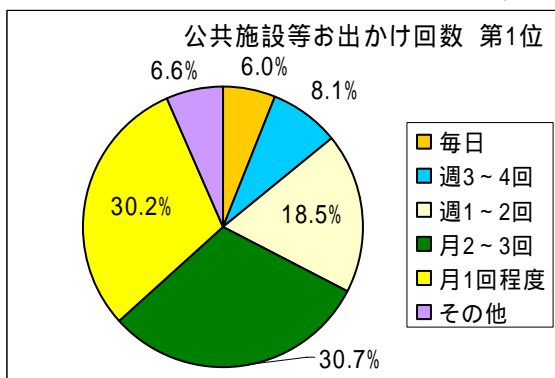
〈問 2 公共施設等 お出かけ方法〉



公共施設等へ出かける際の交通手段で車(自分で運転、家族が運転)を利用する率は第1位で57.5%あるが、これは買物(68.1%)や通院(62.4%)の際に車を利用する率を下回る。出かける先が比較的近場にあることが多いためか「歩き」や「自転車・バイク」を利用する率(第1位で合わせて29.1%)が買物(23.6%)や通院(20.7%)の際より多くなった。

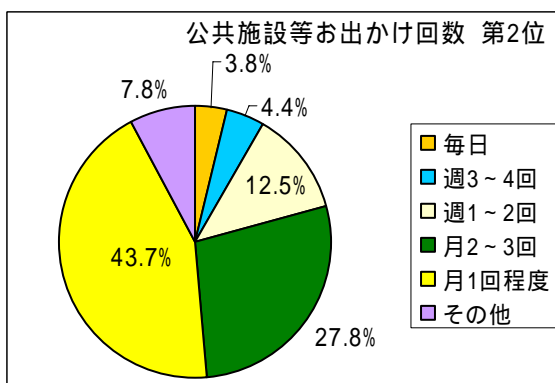
〈問 2 公共施設等 お出かけ回数〉

サンプル数 6,205

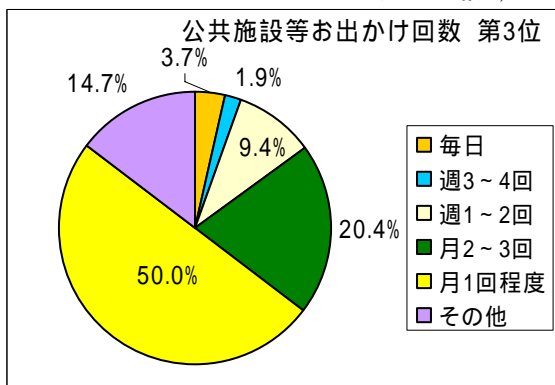


公共施設等へ外出する回数は第1位で「月2~3回」が30.7%、「月1回程度」が30.2%あり、頻度はあまり高くない。「週1~2回」以上「毎日」まで頻繁に外出する回答者は第1位で32.6%あるが第2位では20.7%、第3位では15.0%となり順位が下がるにつれ外出頻度は減少した。

サンプル数 4,006



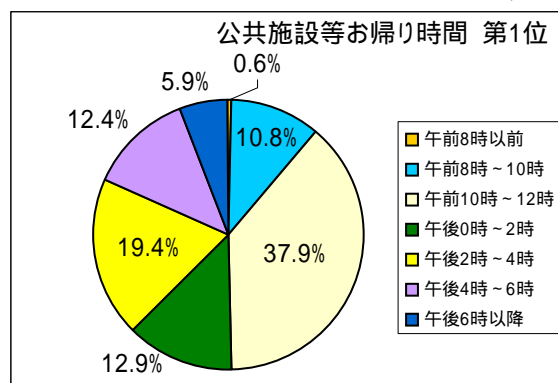
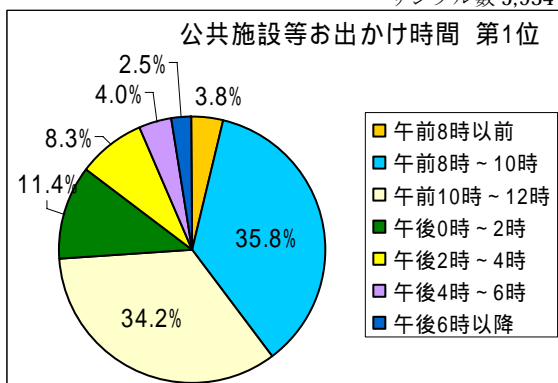
サンプル数 2,682



〈問 2 公共施設等 お出かけ時間、お帰り時間〉

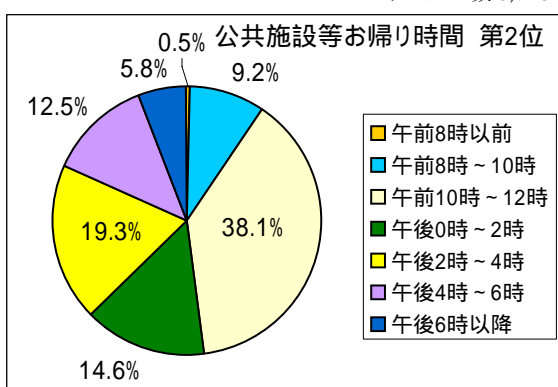
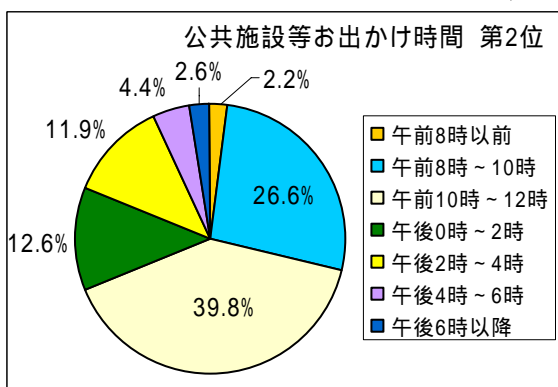
サンプル数 5,934

サンプル数 5,565



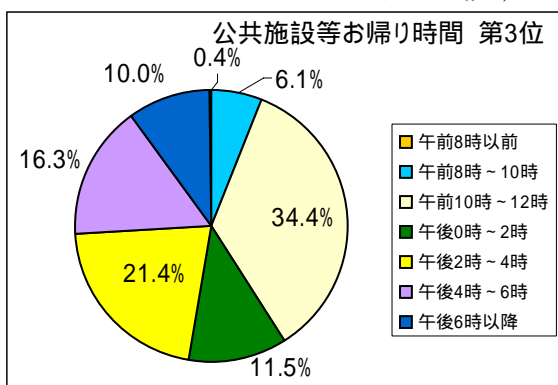
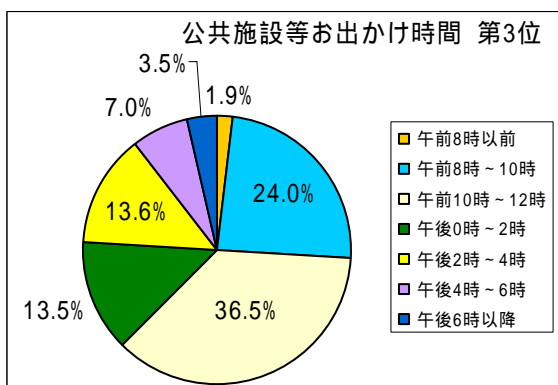
サンプル数 3,871

サンプル数 3,726



サンプル数 2,565

サンプル数 2,485



公共施設等へ出かける時間も他の外出と同様に午前中の時間帯が多く、午前12時までの選択数を合わせると第1位で73.8%、第2位で68.6%、第3位で62.4%に達する。帰りの時間も同様に早めの時間帯に回答が多く午後4時までの選択数は第1位で81.6%、第2位で81.7%、第3位で73.8%となった。

- 以下は「買物」、「通院」、「公共施設」の各項目で、第1位から第3位までのそれぞれについて最も多く選択された語群の組み合わせを整理した。

買物

	買物先	お出かけ方法	お出かけ回数	お出かけ時間	お帰り時間
第1位	豊科地域内の大型店 28.9%	車(自分で運転) 39.4%	週1~2回 41.9%	午前10時~12時 40.5%	午前10時~12時 33.0%
第2位	豊科地域内の大型店 21.2%	車(自分で運転) 43.2%	週1~2回 36.6%	午前10時~12時 37.3%	午前10時~12時 23.2%
第3位	安曇野市外の大型店 23.3%	車(自分で運転) 33.0%	月1回程度 41.6%	午前10時~12時 37.8%	午後2時~4時 27.1%

〈通院〉

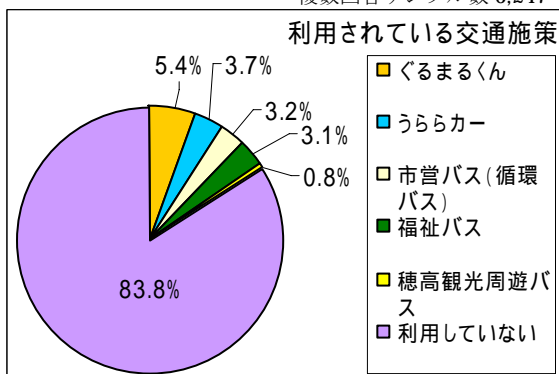
	通院先	お出かけ方法	お出かけ回数	お出かけ時間	お帰り時間
第1位	穂高地域内の病・医院 25.4%	車(自分で運転) 35.2%	月1回程度 41.6%	午前8時~10時 50.3%	午前10時~12時 49.6%
第2位	松本市内の病・医院 22.4%	車(自分で運転) 37.0%	月1回程度 43.6%	午前8時~10時 51.4%	午前10時~12時 49.5%
第3位	松本市内の病・医院 29.5%	車(自分で運転) 42.2%	その他 44.6%	午前8時~10時 49.8%	午前10時~12時 39.8%

〈公共施設等〉

	通院先	お出かけ方法	お出かけ回数	お出かけ時間	お帰り時間
第1位	郵便局 16.8%	車(自分で運転) 40.5%	月1回程度 30.2%	午前8時~10時 35.8%	午前10時~12時 37.9%
第2位	銀行 23.7%	車(自分で運転) 44.4%	月1回程度 43.7%	午前10時~12時 39.8%	午前10時~12時 38.1%
第3位	親戚・知人宅 18.9%	車(自分で運転) 45.7%	月1回程度 50.0%	午前10時~12時 36.5%	午前10時~12時 34.4%

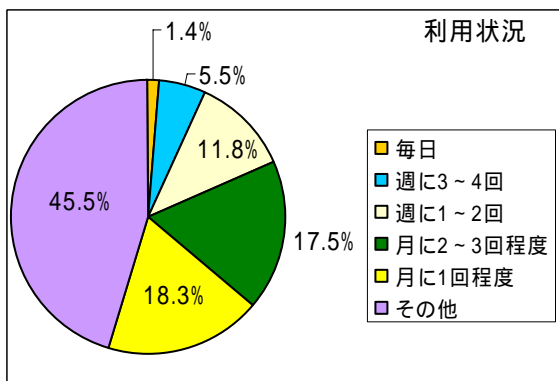
〈問 3① 利用されている交通施策〉

複数回答サンプル数 6,247



現在市が行っている交通施策で、利用が最も多いのは「ぐるまるくん」であるがそれでも 5.4%の低い利用率であり、以下何れも 1 桁台の数値である。「利用していない」は大多数の 83.8%あった。

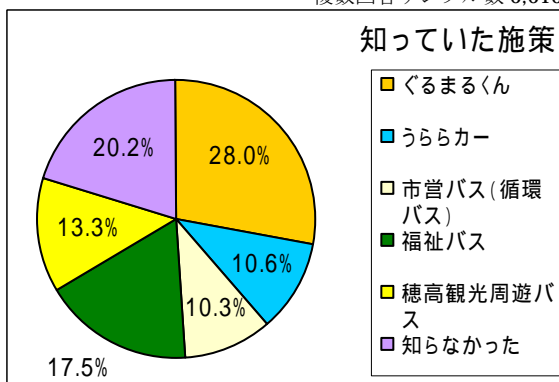
〈問 3② 利用状況〉



「利用している」中でも利用する頻度は低く「毎日」は 1.4%、「週に 3~4 回」は 5.5%である。「月に 1 回程度」(18.3%)や「月に 2~3 回程度」(17.5%)の低頻度利用が主となっている。

〈問 3③ 交通施策の認知度〉

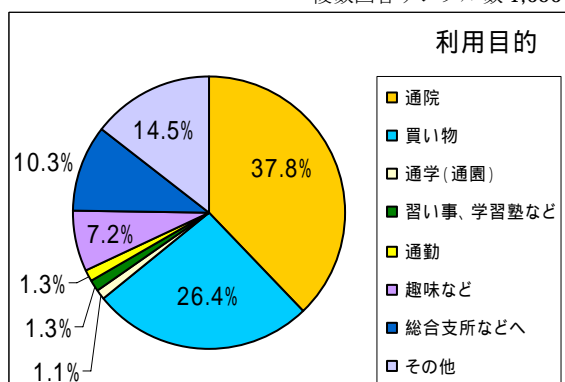
複数回答サンプル数 6,610



各交通施策の認知度は「ぐるまるくん」が 28.0%で最も高く、次いで「福祉バス」17.5%、「穂高観光周遊バス」13.3%、「うららカー」10.6%、「市営バス」10.3%の順となったが「知らなかった」が 20.2%の回答を集めた。

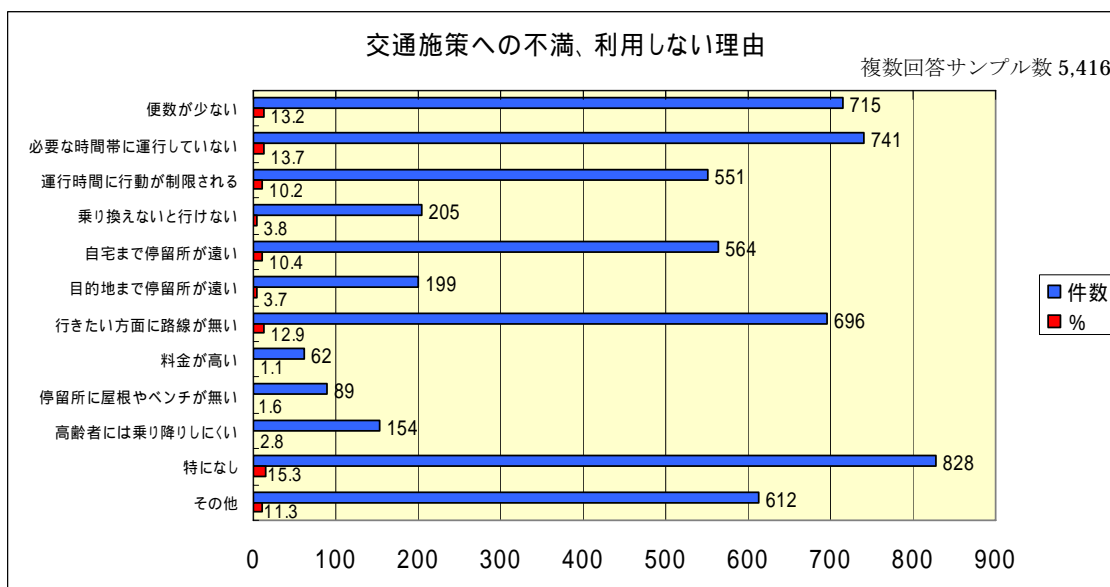
〈問 3④ 利用目的〉

複数回答サンプル数 1,656



利用目的は「通院」(37.8%)や「買い物」(26.4%)が主で、このふたつの目的で全体の64.2%となった。以下「総合支所などへ」(10.3%)、「趣味・サークルなど」(7.2%)の順となっており、それら以外の利用目的は少数であった。

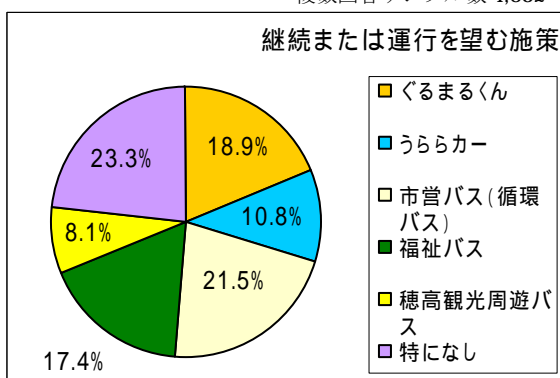
〈問 3⑤ 交通施策への不満〉



交通施策への不満や利用しない理由は回答が分散したが、選択された率が比較的高いのは「必要な時間帯に運行していない」(13.7%)や「便数が少ない」(13.2%)、「自宅まで停留所が遠い」(10.4%)、「運行時間に行動が制限される」(10.2%)などであった。便数や時間を定め、定路線を運行する公共路線バス（うららカーを除く）と自分で都合のいい時間にどこへでも移動できる自家用車を比較すればバスの性格上やむを得ない不満項目が上位の選択件数となった結果である。一方で「料金が低い」(1.1%)や「停留所に屋根やベンチがない」(1.6%)、「高齢者には乗り降りしにくい」(2.8%)などの経済面や、施設・車両への不満はほとんどなかった。

〈問 3⑥ 継続または運行を望む施策〉

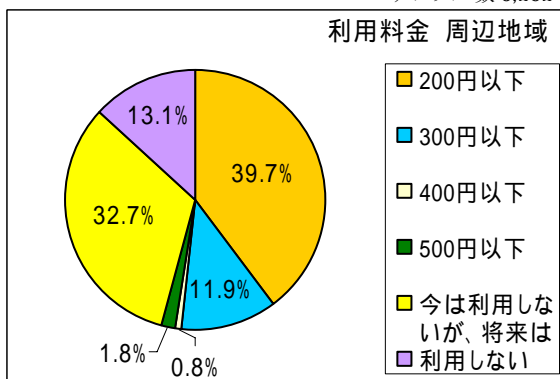
複数回答サンプル数 4,832



継続または自分の地域にあればよいと思う施策で最も多く選択されたのは「市営バス(循環バス)」(21.5%)であった。このバスは問 3①の設問(利用されている交通施策)では、第 3 番目に利用されているバスである。同設問で利用されている率が 0.8%であった「穂高観光周遊バス」の継続を望む回答は 8.1%集めた。

〈問 4 新しい交通システムの利用料金(周辺地域への移動)〉

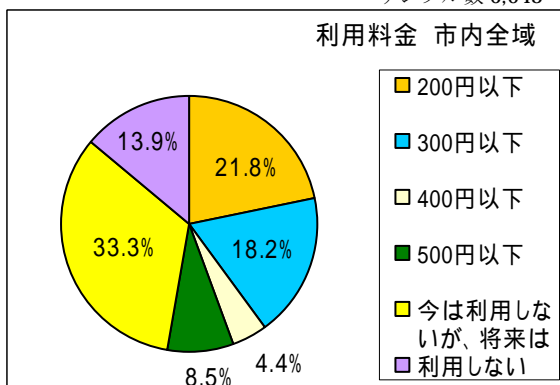
サンプル数 6,252



住まいの周辺地域を移動する場合の利用料金は「200 円以下」が 39.7%で最も多かった。以下「300 円以下」(11.9%)、「400 円以下」(0.8%)、「500 円以下」(1.8%)で、300 円以下を望む回答は過半数の 51.6%を集めた。「今は利用しないが将来は利用したい」とする将来の需要者は約 3 分の 1(32.7%)あった。

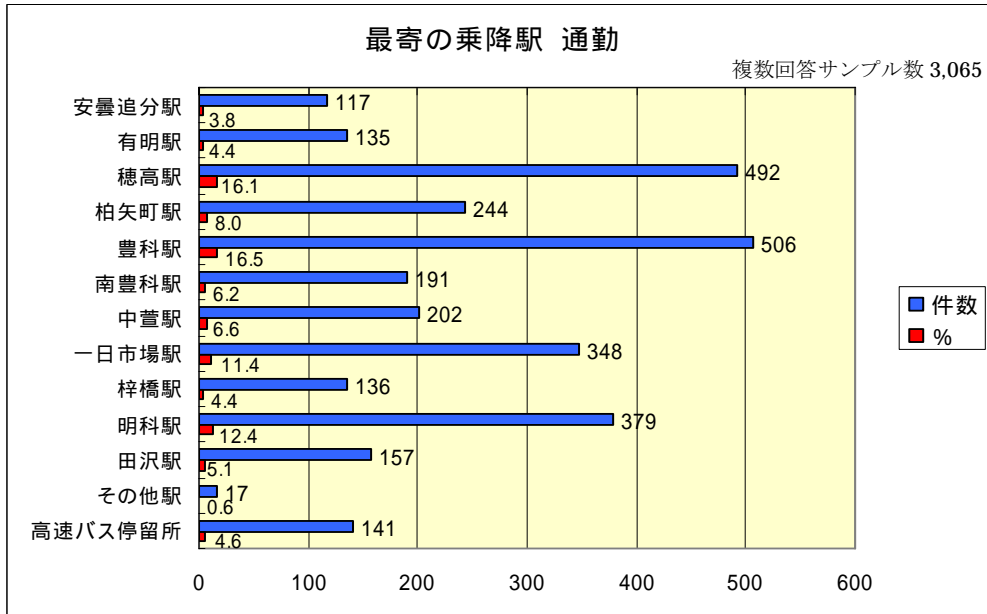
〈問 4 新しい交通システムの利用料金(市内全域への移動)〉

サンプル数 6,043



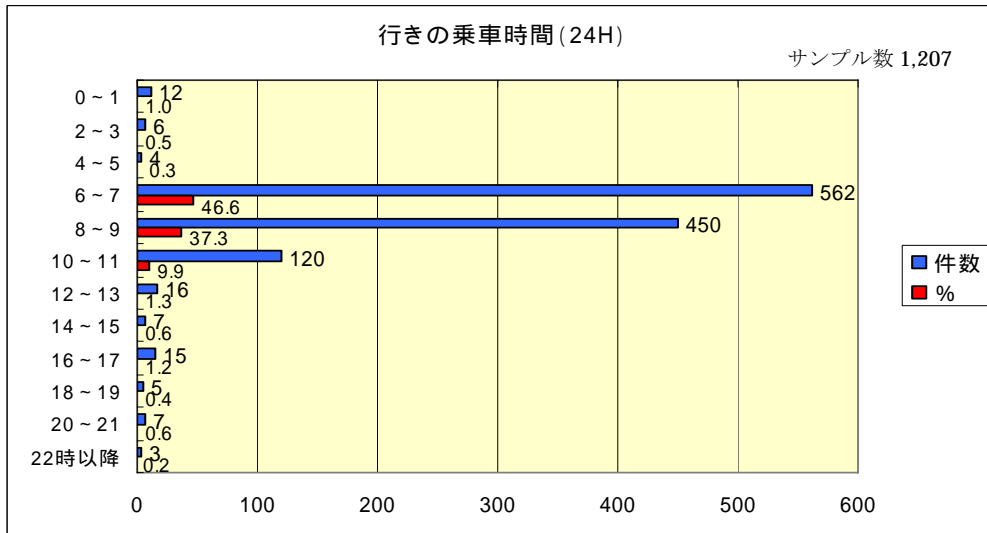
市内全域を移動するとした場合での利用料金では周辺地域への移動に比べて「200 円以下」の回答比率は減ったが、それでも 21.8%と最も多くの回答を集め低料金志向が強いことを示している。しかし「500 円以下」が 8.5%、「400 円以下」が 4.4%あるなどある程度の料金を負担しても新しい交通システム利用したい意向を持つ住民も少なくない。

〈問 5 自宅から最寄の乗降駅名(通勤)〉



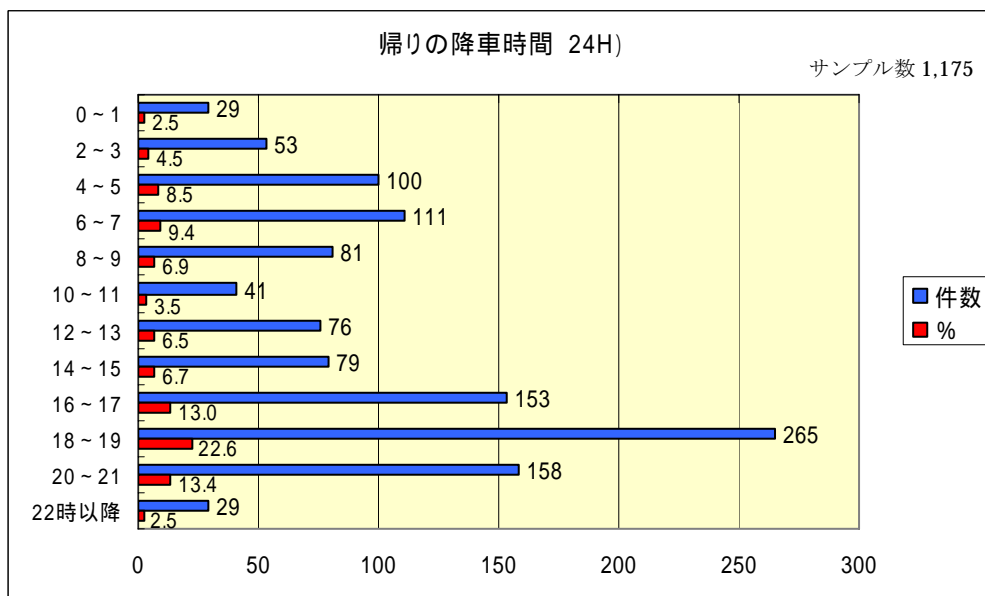
通勤の際での自宅から最寄の乗降駅は「豊科駅」(16.5%)、「穂高駅」(16.1%)、「明科駅」(12.4%)、「一日市場駅」の順に多く、それぞれ旧町の中心部付近に位置する駅が上位に選択された。

〈問 5 行きの乗車時間〉



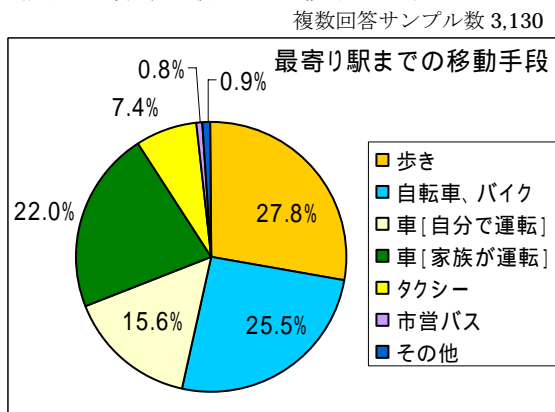
行きの乗車時間は早朝「6~7時」の時間帯で46.6%と約半数近くの回答を集めた。中長距離通勤者が多数あることが推測できる。

〈問5 帰りの降車時間〉



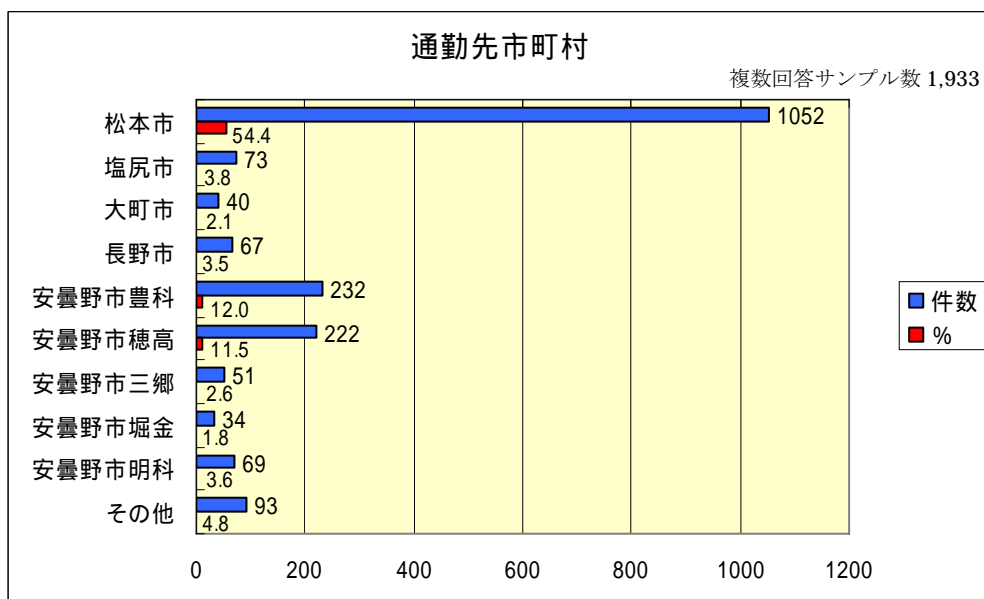
最寄り駅での帰りの降車時間は「18～19時」が22.6%、「20～21時」が13.4%、「16～17時」が13.0%の順となり、午後6時代を中心に前後2時間の時間帯で半数程度の回答があったが、その他の時間帯にも幅広く分散した。

〈問5 最寄り駅までの移動手段〉



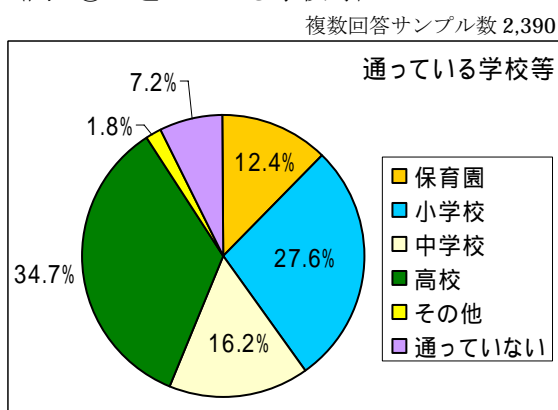
自宅から最寄り駅までの移動手段は回答が大きく分かれたが、最も回答が多かったのが「歩き」(27.8%)、次に「自転車・バイク」(25.5%)であった。ここまでは最寄り駅から比較的近距离の通勤者と思えるが、「車(家族が運転)」(22.0%)、「車(自分で運転)」(15.6%)と自家用車で最寄り駅まで向かう通勤者は合わせて37.6%に上った。また、「タクシー」を利用して最寄り駅へ移動する通勤者は7.4%もあった。

〈問 5 通勤先市町村〉



通勤先市町村は市外の「松本市」が過半数の 54.4%を集めた。市内では「豊科」(12.0%)や「穂高」(11.5%)のほかは少数である。「その他」を含めた市外の通勤先は合わせて 68.6%、通勤先が市内にあるのは 31.4%で、JR(または高速バス)を利用する通勤者の約 7 割は市外通勤となっている。

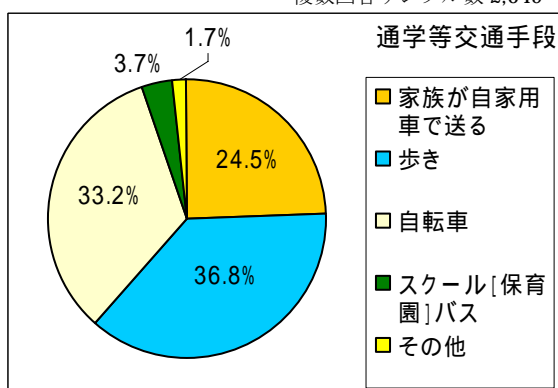
〈問 6① 通っている学校等〉



高校生以下の生徒、児童、園児がいる世帯では「高校生」がいる比率が高く、約 3 分の 1 の世帯(34.7%)がこれに該当した。次に「小学校」27.6%、「中学校」(16.2%)、「保育園」(12.4%)の順であった。

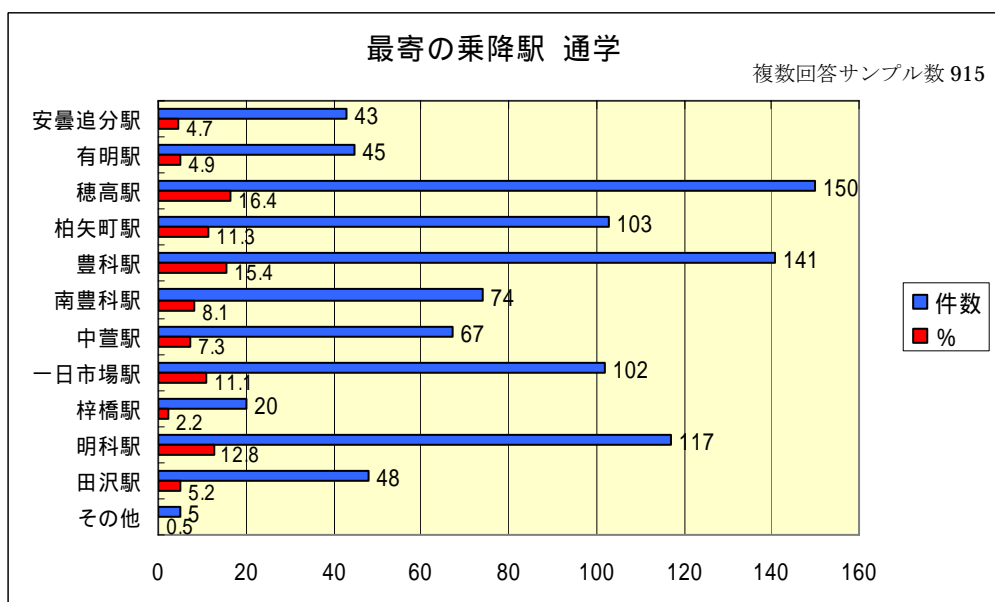
〈問 6② 通学等の交通手段〉

複数回答サンプル数 2,049



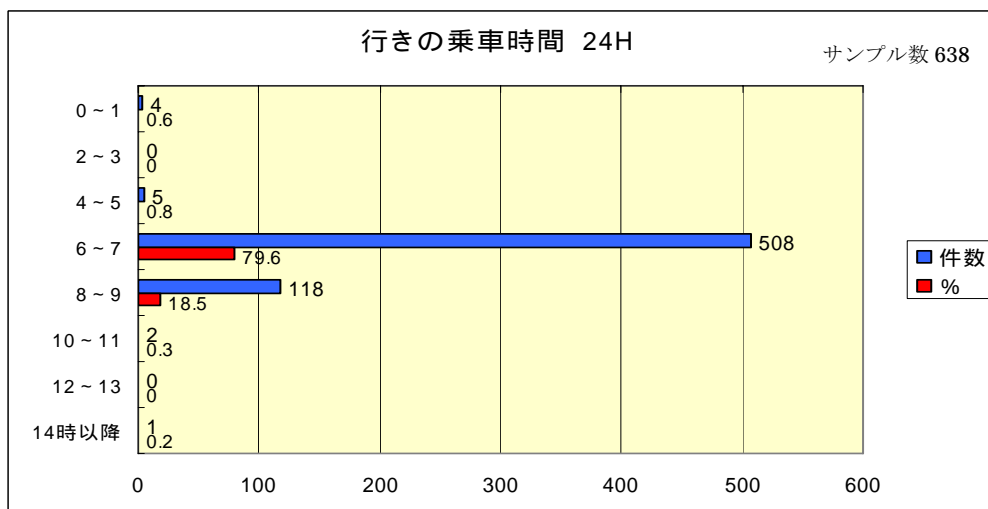
通学等の交通手段は「歩き」が 36.8%、「自転車」が 33.2%で、合わせて自力手段は 7 割の数値である。「家族が自家用車で送る」が約 4 分の 1(24.5%)あった。

〈問 6③ 最寄の乗降駅(通学)〉



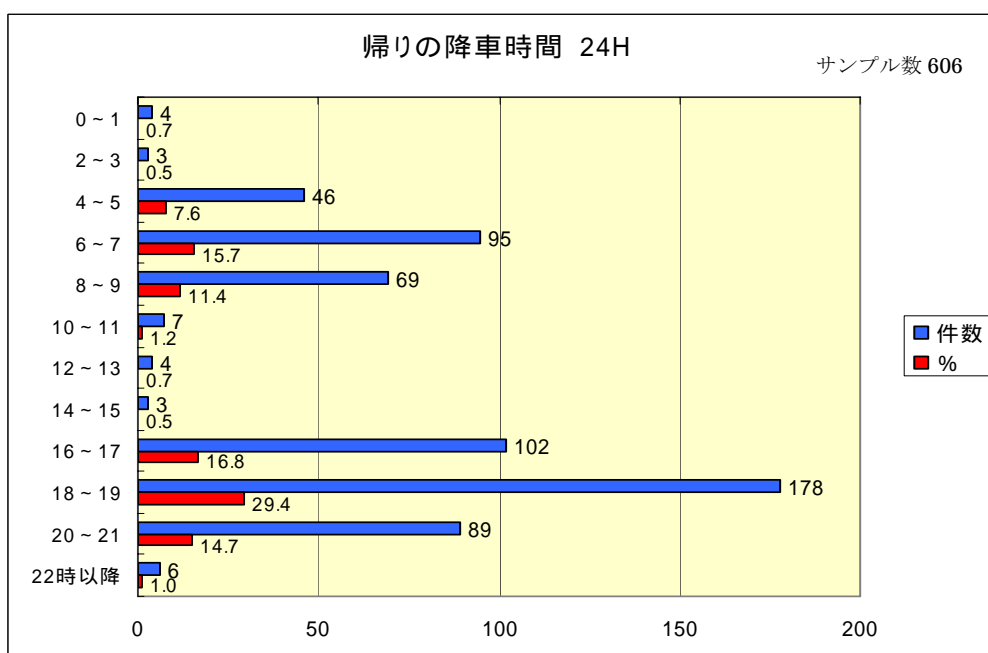
通学の最寄り駅は通勤と同様に「穂高駅」(16.4%)、「豊科駅」(15.4%)、「明科駅」(12.8%)、「一日市場駅」(11.1%)などそれぞれ旧町中心部付近の駅が上位に選択された。

〈問 6③ 行きの乗車時間〉



通学の際の行きの乗車時間は早朝の「6～7時」の時間帯に79.6%の回答が集まった。通勤の際のこの時間帯の回答値46.6%をはるかに上回る数値であり、遠距離通学となる生徒が非常に多いことが示されている。

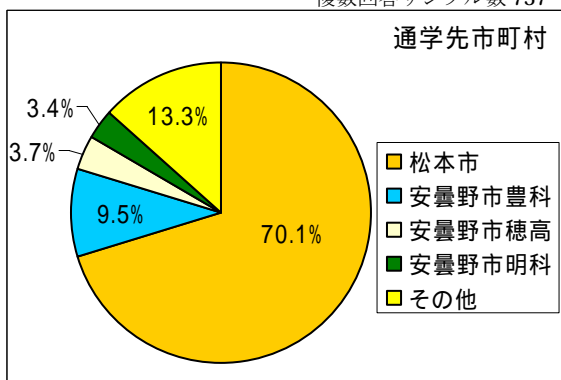
〈問 6③ 帰りの降車時間〉



遠距離通学者の多い分帰りの降車時間帯も遅めとなることが多く「18～19時」が29.4%(通勤では22.6%)、「20～21時」では14.7%(通勤では13.4%)の回答を集め、通学者の帰宅が通勤者より遅いという実態である。

〈問 6③ 通学先市町村〉

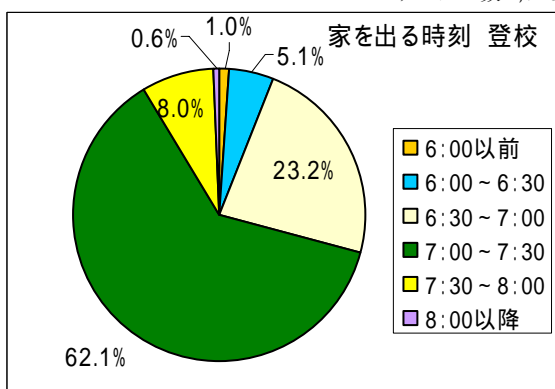
複数回答サンプル数 737



電車を利用する通学者の通学先は「松本市」が 70.1% で大多数であった。市内では「豊科」が 9.5%、「穂高」が 3.7%、「明科」が 3.4% である。「その他」を含めた市外通学は合わせて 83.4%、市内通学者は計 16.6% であった。

〈問 6④ 登校(家を出る)時間〉

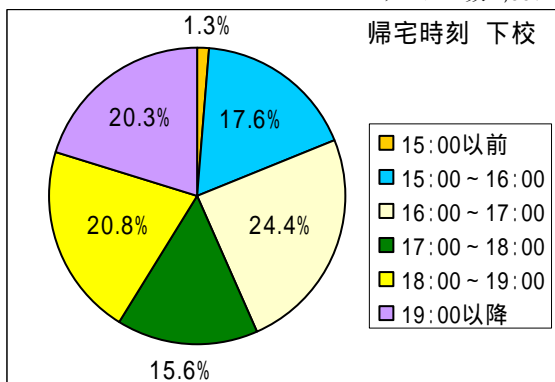
サンプル数 1,710



この設問では電車以外の通学手段も含んだ登校時間の質問であるが「7:00~7:30」が全体の 62.1% を占めるなど早い時間帯に登校する通学者が多く「6:30~7:00」が 23.2%、「6:00~6:30」が 5.1% あるなど全体の 91.4% は 7 時 30 分以前に登校のため家を出ている。

〈問 6⑤ 帰宅時間〉

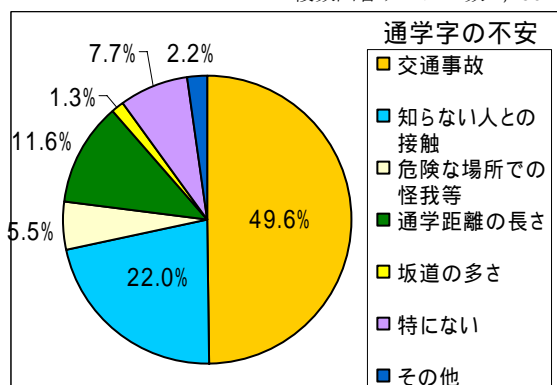
サンプル数 1,657



帰宅時間については、園児、小・中学生、高校生などそれぞれ下校時間が多様となることが反映されたためか回答は大きく分散された。

〈問6 ⑥子供の通学時の不安〉

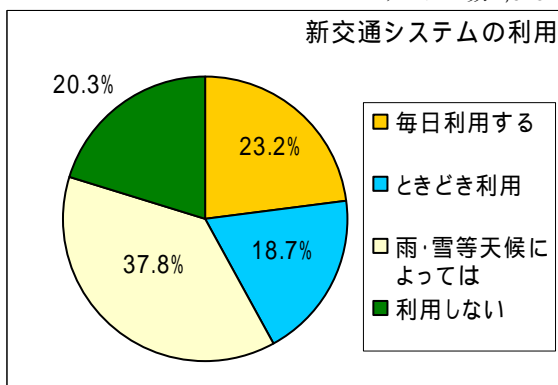
複数回答サンプル数 2,159



子供の通学時の不安として挙げられた中で最も多いのは「交通事故」の49.6%、次いで最近頻発する事件の影響か「知らない人との接触」が22.0%あった。遠距離通学者は多いと推定できるが「通学距離の長さ」について不安を感じたのは11.6%と第3番目の選択であった。

〈問6 ⑦新しい交通システムの通学時利用〉

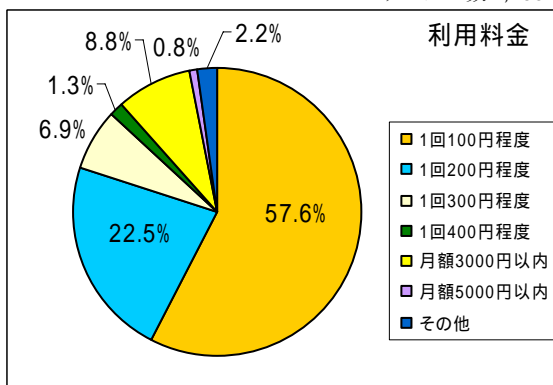
サンプル数 1,618



新しい交通システムの通学時利用は「毎日利用する」は23.2%と4分の1以下であるが「時々」(18.7%)や「天候によっては」(37.8%)を加えると全体の8割弱は何らかの利用意向を示している。

〈問6 ⑧新しい交通システムの通学時利用料金〉

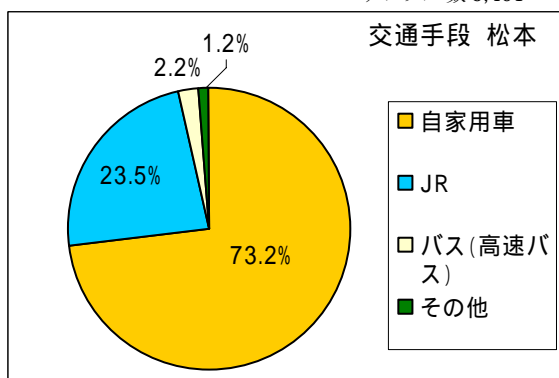
サンプル数 1,438



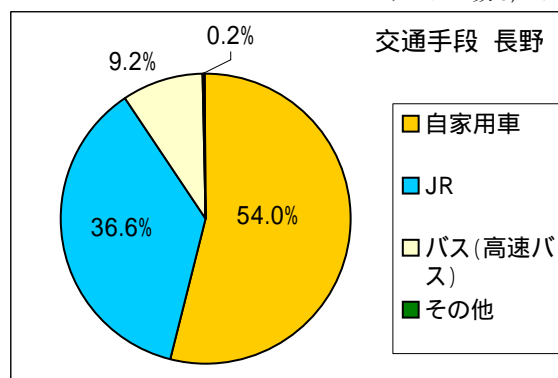
新しい交通システムの通学時利用料金は「100円程度」が過半数の57.6%、「200円程度」が22.5%になるなどごく低料金での利用を望む意向が強く、「400円程度」や「月額5,000円以内」といった高額な料金設定の選択はほとんどなかった。

〈問7 交通手段(通勤・通学以外)〉

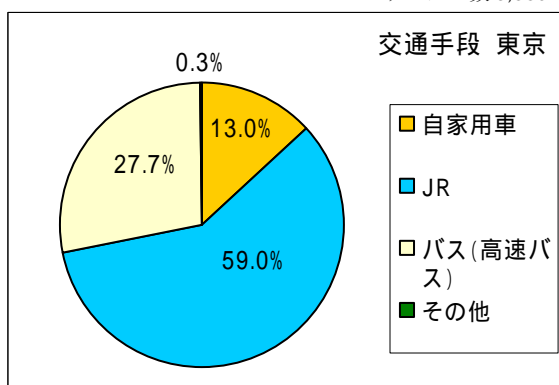
サンプル数 5,491



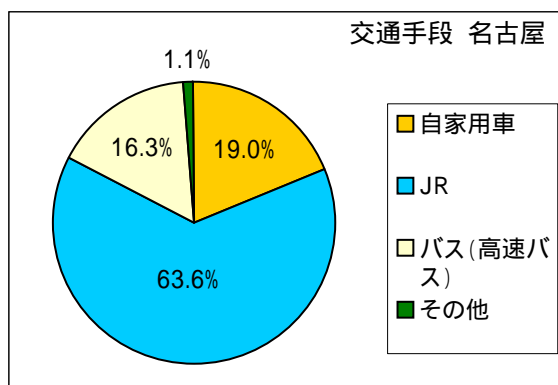
サンプル数 3,247



サンプル数 3,889

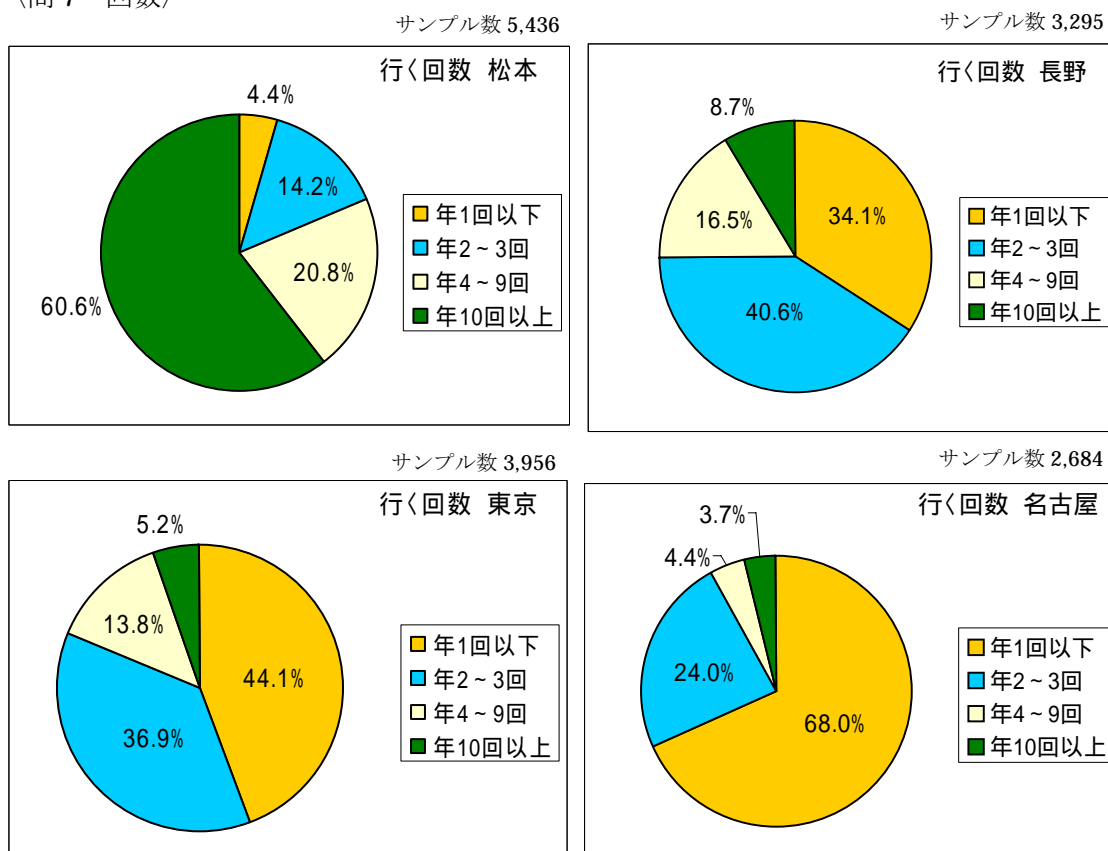


サンプル数 2,730



通勤や通学以外で市外へ向かう交通手段は、松本や長野など県内への移動では自家用車利用が過半数となるが距離が伸びる分 JR 利用が多くなり、東京へ行く際の 59.0%、名古屋へ行く際の 63.6%は JR 利用である。しかしながら、近年の自動車専用道路や高速バス路線の整備などによる移動時間の短縮、またはその効果による移動コスト・料金の低廉化により東京や名古屋などへの長距離移動手段としても高速バスや自家用車の利用はかなりの率を占めている。

〈問 7 回数〉



回答者が松本を訪れる回数は「年 10 回以上」が 60.6%、「年 4～9 回」が 20.8%になるなど高頻度であるが、長野では「年 2～3 回」が 40.6%、「年 1 回以下」が 34.1%と回数は激減する。この頻度は東京を訪れる頻度に近いものであり、松本は日常生活の延長にある都市として存在するが、長野は実際の距離よりも遠い、住民の日常の生活とはあまり結びついていない都市であるともいえようか。

クロス集計

(問 1③居住地区×問 2 買物)

上段:度数 下段:%	合計	問2. 買い物(お出かけ先)1位												不明	
		豊科地域 内の大型 店	豊科地域 内の大型 店	穂高地域 内の大型 店	穂高地域 内の大型 店	三郷地域 内の大型 店	三郷地域 内の大型 店	堀金地域 内の大型 店	堀金地域 内の大型 店	明科地域 内の大型 店	明科地域 内の大型 店	安曇野市 外の大型 店	安曇野市 外の大型 店		買物した いが自分 では行け ない
合計	8145 100.0	2065 25.4	520 6.4	1706 20.9	544 6.7	537 6.6	182 2.2	433 5.3	71 0.9	375 4.6	106 1.3	214 2.6	119 1.5	272 3.3	1001 12.3
豊科南穂高	425 100.0	270 63.5	61 14.4	20 4.7	9 2.1	-	-	7 1.6	-	-	-	3 0.7	3 0.7	14 3.3	38 8.9
豊科光	110 100.0	69 62.7	12 10.9	9 8.2	2 1.8	-	-	-	1 0.9	-	-	-	2 1.8	3 2.7	12 10.9
豊科田沢	171 100.0	111 64.9	23 13.5	1 0.6	2 1.2	-	-	-	2 1.2	-	-	1 0.6	3 1.8	7 4.1	21 12.3
豊科高家	735 100.0	353 48.0	108 14.7	4 0.5	6 0.8	84 11.4	23 3.1	9 1.2	-	-	-	45 6.1	19 2.6	17 2.3	67 9.1
豊科	1014 100.0	665 65.6	130 12.8	17 1.7	6 0.6	7 0.7	2 0.2	23 2.3	1 0.1	-	-	16 1.6	6 0.6	26 2.6	115 11.3
穂高有明	856 100.0	21 2.5	7 0.8	549 64.1	127 14.8	3 0.4	1 0.1	16 1.9	-	3 0.4	-	9 1.1	4 0.5	5 0.6	73 8.5
穂高北穂高	240 100.0	16 6.7	2 0.8	149 62.1	46 19.2	-	-	-	-	-	-	1 0.4	1 0.4	5 2.1	20 8.3
穂高	956 100.0	43 4.5	9 0.9	491 51.4	204 21.3	3 0.3	-	15 1.6	3 0.3	-	-	4 0.4	13 1.4	36 3.8	135 14.1
穂高柏原	497 100.0	46 9.3	12 2.4	197 39.6	67 13.5	7 1.4	-	50 10.1	16 3.2	1 0.2	-	9 1.8	6 1.2	6 3.8	67 13.5
穂高牧	112 100.0	7 6.3	3 2.7	57 50.9	25 22.3	-	-	8 7.1	-	-	-	1 0.9	1 0.9	2 1.8	8 7.1
三郷明盛	613 100.0	109 17.8	36 5.9	8 1.3	3 0.5	193 31.5	86 14.0	29 4.7	-	-	-	33 5.4	18 2.9	21 3.4	77 12.6
三郷温	384 100.0	16 4.2	11 2.9	9 2.3	-	160 41.7	54 14.1	19 4.9	-	-	-	32 8.3	23 6.0	11 2.9	49 12.8
三郷小倉	125 100.0	4 3.2	-	-	-	61 48.8	14 11.2	4 3.2	4 3.2	-	-	5 4.0	5 4.0	4 3.2	24 19.2
堀金鳥川	506 100.0	132 26.1	38 7.5	10 2.0	7 1.4	1 0.2	-	175 34.6	31 6.1	-	2 0.4	8 1.6	4 0.8	4 3.8	79 15.6
堀金三田	195 100.0	31 15.9	18 9.2	8 4.1	-	10 5.1	2 1.0	69 35.4	13 6.7	-	-	9 4.6	-	9 4.6	26 13.3
明科東川手	205 100.0	27 13.2	5 2.4	24 11.7	1 0.5	-	-	-	-	-	-	86 42.0	22 10.7	3 1.5	6 2.9
明科中川手	371 100.0	67 18.1	19 5.1	40 10.8	13 3.5	2 0.5	-	1 0.3	-	-	-	123 33.2	42 11.3	8 2.2	11 3.0
明科光	106 100.0	30 28.3	11 10.4	4 3.8	2 1.9	-	-	4 3.8	-	-	-	27 25.5	3 2.8	9 8.5	2 1.9
明科七貴	315 100.0	29 9.2	4 1.3	91 28.9	16 5.1	-	-	4 1.3	-	-	-	77 24.4	22 7.0	17 5.4	16 5.1
明科南陸郷	137 100.0	9 6.6	11 8.0	15 10.9	4 2.9	1 0.7	-	-	-	-	-	56 40.9	14 10.2	1 0.7	25 18.2
不明	72 100.0	10 13.9	-	3 4.2	4 5.6	5 6.9	-	-	-	-	-	2 2.8	-	-	48 66.7

単位：%

	豊科	穂高	三郷	堀金	明科	市外	自分では行けない	不明
豊科	73.4	3.1	4.7	1.8	0.0	4.0	2.7	10.3
穂高	6.2	71.8	0.5	4.1	0.2	1.8	3.9	11.4
三郷	15.7	1.8	50.6	5.0	0.0	10.3	3.2	13.4
堀金	31.2	3.6	1.9	41.1	0.3	3.0	3.9	15.0
明科	18.7	18.5	0.3	0.8	41.6	4.4	3.2	12.5

回答者の居住地区と買物先(第1位)を対比させた表である。いずれの地域でもその地域内の店を選択した率が高いが、豊科地域内の回答者が豊科地域内を買物先(第1位)として選択した率は73.4%で地域内の完結度は最も高い。堀金地域の地域内完結は41.1%で最も低く31.2%が豊科地域へ流出している。明科地域も地域内完結は41.6%と低く豊科と穂高へ大きく流出している。市外流出度は三郷地域のみ10.3%と突出して高いがその他の地域は1桁台の数値である。「自分では行けない」回答者の分布はほぼ均等であるが堀金地域でやや高い。

〈問1③居住地区×問2 通院〉

集計(4)

上段: 度数 下段: %		問2. 通院(お出かけ先)1位									
		合計	安曇野赤十字病院	豊科地域内の病院・医院	穂高地域内の病院・医院	三郷地域内の病院・医院	堀金地域内の医院	明科地域内の医院	松本市内の病院・医院	安曇野市隣接町村内の病院・医院	その他の病院・医院
合計	8145 100.0	1058 13.0	1379 16.9	1763 21.6	533 6.5	214 2.6	575 7.1	1093 13.4	250 3.1	85 1.0	1195 14.7
豊科南穂高	425 100.0	121 28.5	165 38.8	44 10.4	8 1.9	-	-	33 7.8	7 1.6	3 0.7	44 10.4
豊科光	110 100.0	26 23.6	28 25.5	9 8.2	-	-	8 7.3	17 15.5	1 0.9	2 1.8	19 17.3
豊科田沢	171 100.0	27 15.8	73 42.7	-	-	-	-	40 23.4	3 1.8	3 1.8	25 14.6
豊科高家	735 100.0	127 17.3	258 35.1	5 0.7	49 6.7	6 0.8	6 0.8	180 24.5	7 1.0	2 0.3	95 12.9
豊科	1014 100.0	206 20.3	457 45.1	23 2.3	29 2.9	2 0.2	-	124 12.2	15 1.5	18 1.8	140 13.8
穂高有明	856 100.0	84 9.8	43 5.0	522 61.0	9 1.1	4 0.5	10 1.2	56 6.5	33 3.9	12 1.4	83 9.7
穂高北穂高	240 100.0	19 7.9	9 3.8	142 59.2	-	-	2 0.8	22 9.2	15 6.3	1 0.4	30 12.5
穂高	956 100.0	68 7.1	32 3.3	550 57.5	1 0.1	-	2 0.2	92 9.6	26 2.7	10 1.0	175 18.3
穂高柏原	497 100.0	59 11.9	33 6.6	236 47.5	5 1.0	4 0.8	2 0.4	46 9.3	15 3.0	7 1.4	90 18.1
穂高牧	112 100.0	9 8.0	6 5.4	64 57.1	1 0.9	1 0.9	-	8 7.1	2 1.8	-	21 18.8
三郷明盛	613 100.0	48 7.8	75 12.2	13 2.1	219 35.7	5 0.8	3 0.5	133 21.7	18 2.9	3 0.5	96 15.7
三郷温	384 100.0	30 7.8	24 6.3	10 2.6	155 40.4	5 1.3	-	78 20.3	21 5.5	-	61 15.9
三郷小倉	125 100.0	9 7.2	7 5.6	2 1.6	39 31.2	2 1.6	1 0.8	29 23.2	17 13.6	3 2.4	16 12.8
堀金鳥川	506 100.0	72 14.2	109 21.5	33 6.5	6 1.2	114 22.5	-	61 12.1	6 1.2	-	105 20.8
堀金三田	195 100.0	24 12.3	36 18.5	11 5.6	5 2.6	67 34.4	-	27 13.8	-	-	25 12.8
明科東川手	205 100.0	34 16.6	2 1.0	8 3.9	-	-	97 47.3	31 15.1	6 2.9	2 1.0	25 12.2
明科中川手	371 100.0	43 11.6	1 0.3	11 3.0	2 0.5	2 0.5	197 53.1	56 15.1	16 4.3	1 0.3	42 11.3
明科光	106 100.0	9 8.5	2 1.9	3 2.8	-	2 1.9	61 57.5	14 13.2	4 3.8	2 1.9	9 8.5
明科七貴	315 100.0	30 9.5	7 2.2	56 17.8	3 1.0	-	109 34.6	26 8.3	27 8.6	13 4.1	44 14.0
明科南陸郷	137 100.0	8 5.8	6 4.4	13 9.5	-	-	74 54.0	11 8.0	7 5.1	-	18 13.1
不明	72 100.0	5 6.9	6 8.3	8 11.1	2 2.8	-	3 4.2	9 12.5	4 5.6	3 4.2	32 44.4

単位: %

	赤十字	豊科	穂高	三郷	堀金	明科	松本市	隣接町村	その他	不明
豊科	20.7	40.0	3.3	3.5	0.3	0.6	16.0	1.3	1.1	13.2
穂高	9.0	4.6	56.9	0.6	0.3	0.6	8.4	3.4	1.1	15.0
三郷	7.8	9.4	2.2	36.8	1.1	0.4	21.4	5.0	0.5	15.4
堀金	13.7	20.7	6.6	1.6	25.8	0.0	12.6	0.9	0.0	18.1
明科	10.9	1.6	8.0	0.4	0.4	47.4	12.2	5.3	1.6	12.2

回答者の居住地区と通院先(第1位)を対比した。買物と同様に居住地域内の病・医院を選択した率がそれぞれ最も高いが買物よりは選択率が下がり他地域で受療する率が高まる。地域内に病院のない堀金地域の域内選択は25.8%と低いが同じく病院のない明科では47.4%と高い。赤十字病院のある豊科では域内受療が60.7%と高い。市外への流出度は地域により若干相違し、三郷では合計26.9%あるが穂高では12.9%と低い。

〈問1③居住地区×問2 公共施設等〉

集計(7)

		問2. 公共施設等(お出かけ先)1位													
上段: 度数	合計	市役所(総合支所)	保健福祉施設	公民館	高校	小中学校	保育園	最寄りの駅	農協	温泉入浴施設	郵便局	銀行	親戚・知人宅	その他	不明
下段: %															
合計	8145	874	560	449	131	55	53	194	680	550	1050	1002	446	189	1912
	100.0	10.7	6.9	5.5	1.6	0.7	0.7	2.4	8.3	6.8	12.9	12.3	5.5	2.3	23.5
豊科南穂高	425	69	32	21	8	2	1	12	29	20	41	46	24	7	113
	100.0	16.2	7.5	4.9	1.9	0.5	0.2	2.8	6.8	4.7	9.6	10.8	5.6	1.6	26.6
豊科光	110	22	6	9	-	-	2	1	5	5	14	9	4	2	31
	100.0	20.0	5.5	8.2	-	-	1.8	0.9	4.5	4.5	12.7	8.2	3.6	1.8	28.2
豊科田沢	171	33	18	-	2	2	2	-	14	11	20	23	1	4	41
	100.0	19.3	10.5	-	1.2	1.2	1.2	-	8.2	6.4	11.7	13.5	0.6	2.3	24.0
豊科高家	735	80	54	53	8	3	5	13	49	64	101	103	33	34	135
	100.0	10.9	7.3	7.2	1.1	0.4	0.7	1.8	6.7	8.7	13.7	14.0	4.5	4.6	18.4
豊科	1014	106	75	42	20	7	5	19	45	67	155	190	38	28	217
	100.0	10.5	7.4	4.1	2.0	0.7	0.5	1.9	4.4	6.6	15.3	18.7	3.7	2.8	21.4
穂高有明	856	100	52	39	9	8	1	32	80	48	154	99	51	21	162
	100.0	11.7	6.1	4.6	1.1	0.9	0.1	3.7	9.3	5.6	18.0	11.6	6.0	2.5	18.9
穂高北穂高	240	39	22	12	-	1	3	9	22	27	25	14	20	1	45
	100.0	16.3	9.2	5.0	-	0.4	1.3	3.8	9.2	11.3	10.4	5.8	8.3	0.4	18.8
穂高	956	85	75	51	13	7	3	23	59	78	111	145	60	25	221
	100.0	8.9	7.8	5.3	1.4	0.7	0.3	2.4	6.2	8.2	11.6	15.2	6.3	2.6	23.1
穂高柏原	497	38	24	34	7	6	4	13	40	52	59	64	17	6	133
	100.0	7.6	4.8	6.8	1.4	1.2	0.8	2.6	8.0	10.5	11.9	12.9	3.4	1.2	26.8
穂高牧	112	12	6	5	2	1	-	5	6	17	12	4	8	3	31
	100.0	10.7	5.4	4.5	1.8	0.9	-	4.5	5.4	15.2	10.7	3.6	7.1	2.7	27.7
三郷明盛	613	57	32	42	12	1	6	14	45	41	89	93	41	17	123
	100.0	9.3	5.2	6.9	2.0	0.2	1.0	2.3	7.3	6.7	14.5	15.2	6.7	2.8	20.1
三郷温	384	36	13	41	6	-	6	8	48	23	51	30	22	4	96
	100.0	9.4	3.4	10.7	1.6	-	1.6	2.1	12.5	6.0	13.3	7.8	5.7	1.0	25.0
三郷小倉	125	13	8	5	1	5	-	2	20	6	6	7	10	6	36
	100.0	10.4	6.4	4.0	0.8	4.0	-	1.6	16.0	4.8	4.8	5.6	8.0	4.8	28.8
堀金鳥川	506	43	32	19	22	9	2	13	76	40	40	42	22	8	138
	100.0	8.5	6.3	3.8	4.3	1.8	0.4	2.6	15.0	7.9	7.9	8.3	4.3	1.6	27.3
堀金三田	195	9	16	7	2	-	1	4	47	11	14	11	12	1	60
	100.0	4.6	8.2	3.6	1.0	-	0.5	2.1	24.1	5.6	7.2	5.6	6.2	0.5	30.8
明科東川手	205	23	13	11	6	-	-	9	6	8	37	14	13	3	62
	100.0	11.2	6.3	5.4	2.9	-	-	4.4	2.9	3.9	18.0	6.8	6.3	1.5	30.2
明科中川手	371	49	24	41	-	3	8	6	25	15	54	46	17	2	81
	100.0	13.2	6.5	11.1	-	0.8	2.2	1.6	6.7	4.0	14.6	12.4	4.6	0.5	21.8
明科光	106	14	7	3	2	-	2	1	11	2	17	13	11	3	20
	100.0	13.2	6.6	2.8	1.9	-	1.9	0.9	10.4	1.9	16.0	12.3	10.4	2.8	18.9
明科七貴	315	29	31	11	6	-	1	10	27	11	36	29	37	8	79
	100.0	9.2	9.8	3.5	1.9	-	0.3	3.2	8.6	3.5	11.4	9.2	11.7	2.5	25.1
明科南陸郷	137	13	20	3	-	-	-	-	16	4	14	16	1	5	45
	100.0	9.5	14.6	2.2	-	-	-	-	11.7	2.9	10.2	11.7	0.7	3.6	32.8
不明	72	4	-	-	5	-	1	-	10	-	4	4	1	1	43
	100.0	5.6	-	-	6.9	-	1.4	-	13.9	-	-	5.6	5.6	1.4	59.7

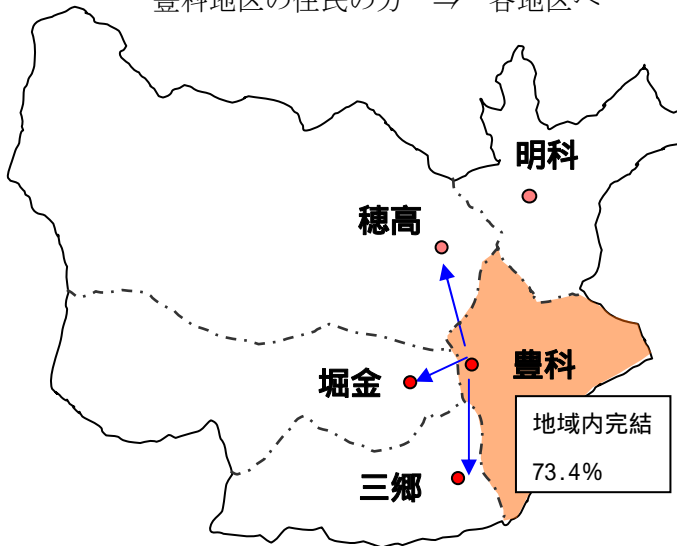
単位：%

	役所	福祉	公民館	高校	小中校	保育園	最寄駅	農協	温泉等	郵便局	銀行	親戚等	その他不明
豊科	12.6	7.5	5.1	1.5	0.6	0.6	1.8	5.8	6.8	13.5	15.1	4.1	25.0
穂高	10.3	6.7	5.3	1.2	0.9	0.4	3.1	7.8	8.3	13.6	12.3	5.9	24.3
三郷	9.4	4.7	7.8	1.7	0.5	1.1	2.1	10.1	6.2	13.0	11.6	6.5	25.2
堀金	7.4	6.8	3.7	3.4	1.3	0.4	2.4	17.5	7.3	7.7	7.6	4.9	29.5
明科	11.3	8.4	6.1	1.2	0.3	1.0	2.3	7.5	3.5	13.9	10.4	7.0	27.2

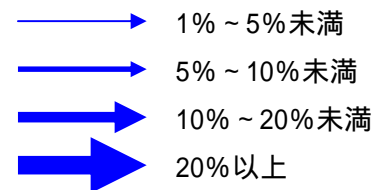
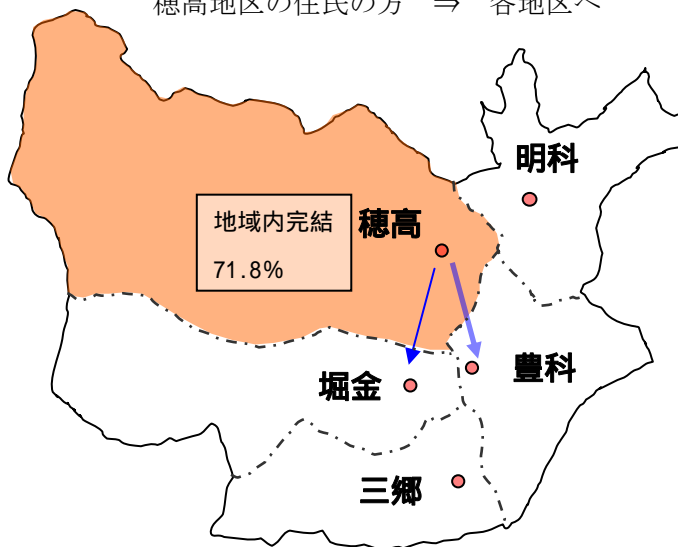
回答者の居住地区と公共施設等お出かけ先(第1位)を対比した。それぞれの地域で公共施設別に選択された率は概ね同様の数値であり特に際立った地域の特性は見られないが唯一堀金地域での「農協」選択率が他地区の2倍程度となっていることと、それと相まってこの地域では郵便局及び銀行の利用が少ない傾向が見える。

クロス集計から見た移動動線(買物)

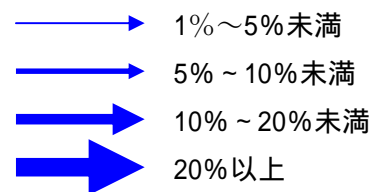
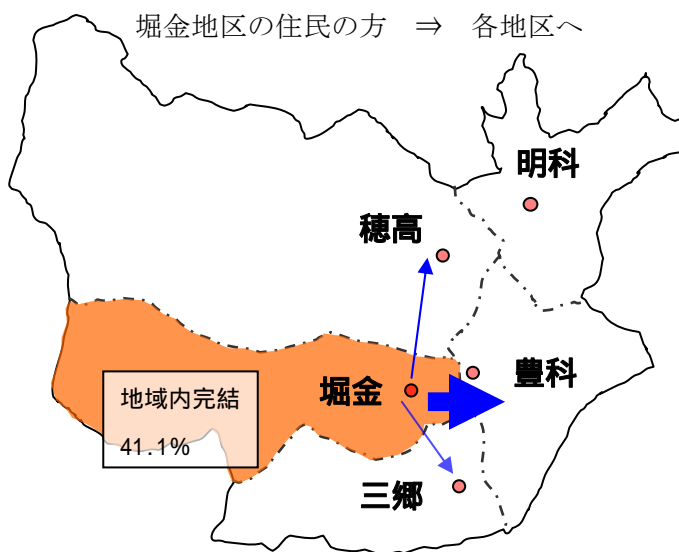
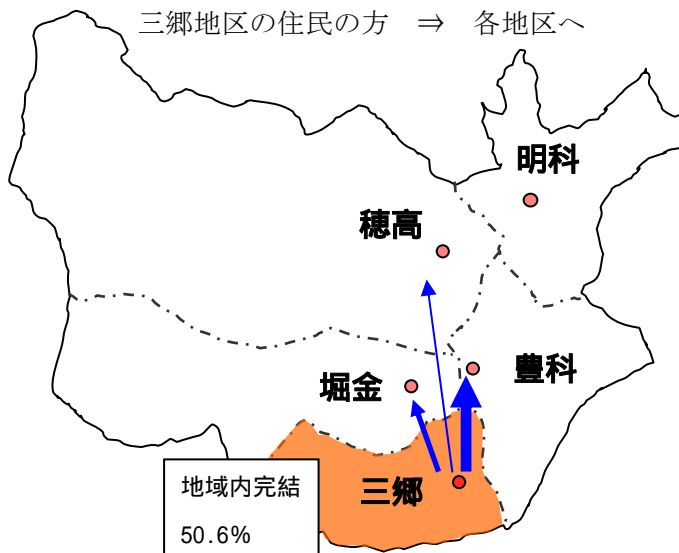
豊科地区の住民の方 ⇒ 各地区へ



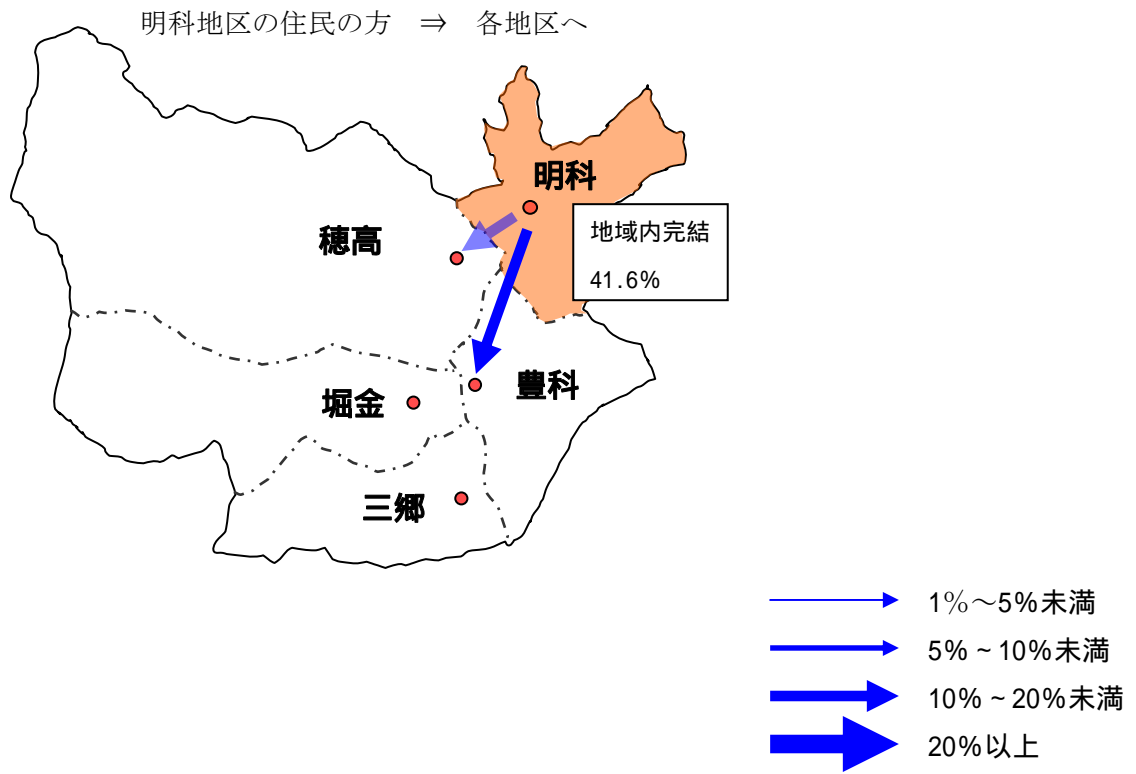
穂高地区の住民の方 ⇒ 各地区へ



クロス集計から見た移動動線(買物)

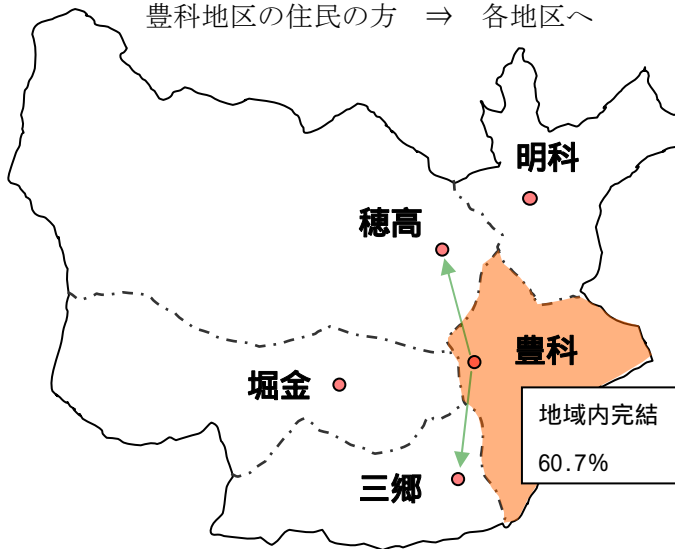


クロス集計から見た移動動線(買物)

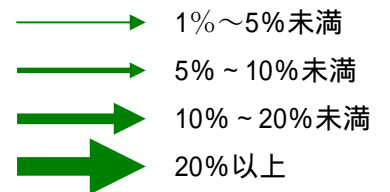
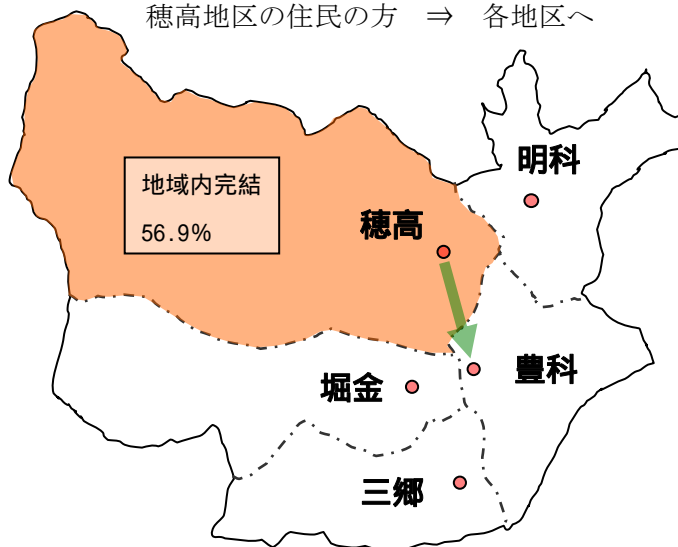


クロス集計から見た移動動線(通院)

豊科地区の住民の方 ⇒ 各地区へ

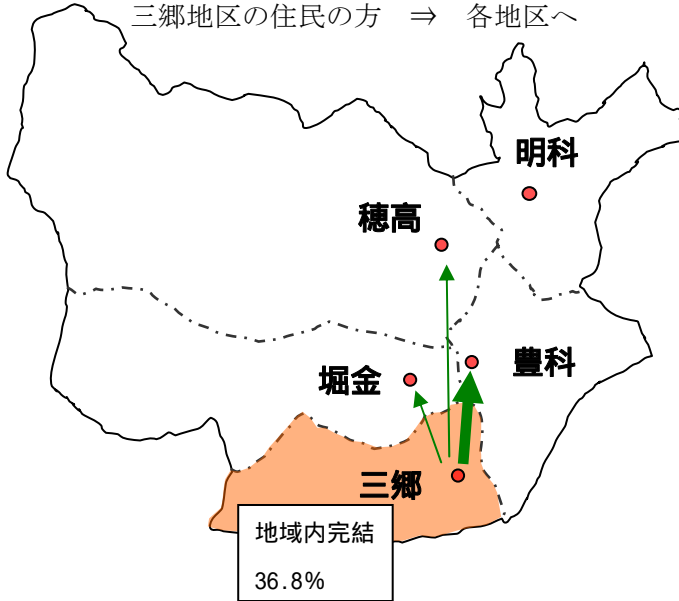


穂高地区の住民の方 ⇒ 各地区へ

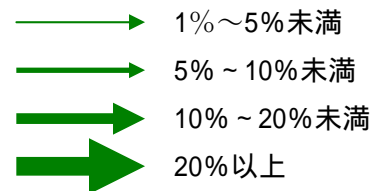
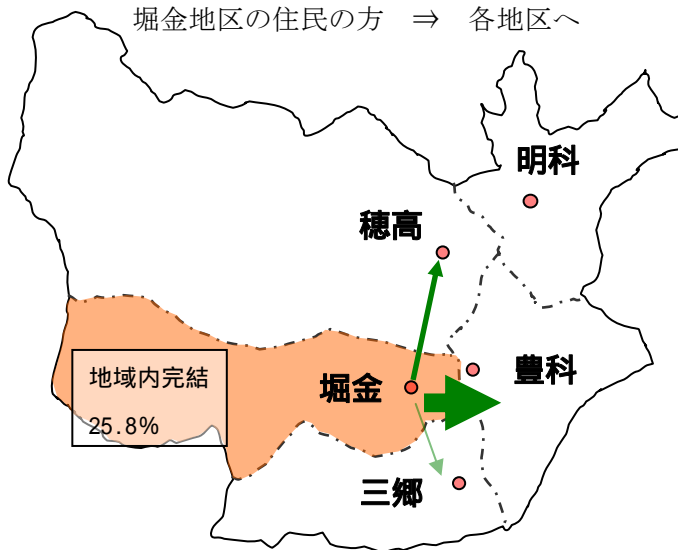


クロス集計から見た移動動線(通院)

三郷地区の住民の方 ⇒ 各地区へ

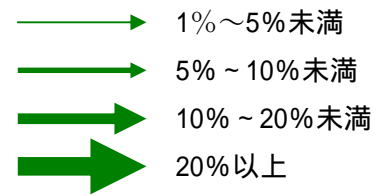
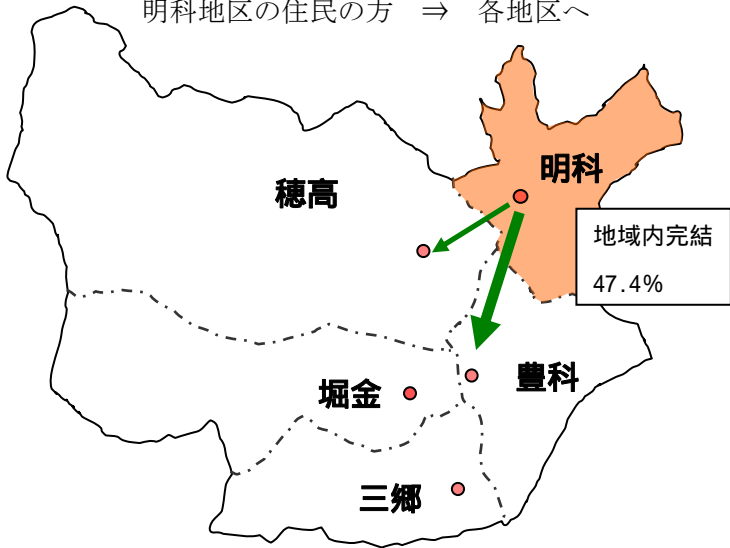


堀金地区の住民の方 ⇒ 各地区へ



クロス集計から見た移動動線(通院)

明科地区の住民の方 ⇒ 各地区へ



〈問 3①利用されている交通施策×問 1①性別②年齢③居住地〉

上段: 度数 下段: %		問3. 利用されている交通施策						
		合計	ぐるまるくん	うららカー	市営バス(循環バス)	福祉バス	穂高観光周遊バス	利用していない
問1. 性別	合計	5459	288	186	177	165	44	4649
	男性	2005	64	43	37	36	10	1833
	女性	3454	224	143	140	129	34	2816
問1. 年齢	合計	6128	337	226	203	178	49	5188
	18歳未満	132	5	11	2	-	1	113
	18歳～29歳	42	1	-	3	-	-	38
	30歳代	17	-	2	-	-	-	15
	40、50歳代	235	4	11.8	2	-	2	226
	60歳～64歳	130	2	3	2	-	-	123
	65歳～69歳	1640	58	39	41	13	18	1479
	70歳～74歳	1438	97	47	34	31	1.1	1227
	75歳～79歳	1179	95	3.3	2.4	2.2	0.3	85.3
	80歳以上	1315	75	55	73	86	11	1042
問1. 居住地区	合計	6151	338	229	203	178	49	5207
	豊科南穂高	317	12.3	-	-	9	1	289
	豊科光	97	16	-	1	-	-	81
	豊科田沢	133	48	-	1	-	-	85
	豊科高家	582	117	-	0.8	-	-	466
	豊科	772	89	-	2	0.3	0.3	679
	穂高有明	669	4	-	10	13	17	630
	穂高北穂高	177	-	-	1	1.9	2.5	171
	穂高	757	4	1	0.6	1	4	747
	穂高柏原	388	5	2	1	14	3	366
	穂高牧	90	-	-	-	5	2	83
	三郷明盛	441	3	4	1	32	-	405
	三郷温	263	0.7	0.8	0.2	7.3	-	243
	三郷小倉	82	-	1.9	0.4	5.3	-	74
	堀金鳥川	401	6	166	-	7	-	226
	堀金三田	136	-	41.4	-	1.7	-	56.4
	明科東川手	153	1	-	49	7	-	97
	明科中川手	284	4	-	32	11	-	237
	明科光	84	-	-	33	4	-	48
	明科七貴	234	-	-	39.3	4.8	-	58.3
	明科南陸郷	91	2	2	19	1	-	69

利用されている交通施策と、回答者の性別・年齢・居住地を対比させたものが上の表である。各施策と性別の比較では、男女とも利用する率は少ないが施策の全般にわたって女性の方が利用する率が男性を上回っており「利用しない」率も男性 91.4%に対し女性が 81.5%で少ない。各施策と年齢の比較では、「うららカー」については「18歳未満」および「30歳代」でやや利用する率が高いほか若年層の利用はほとんど見られず利用の主体はほとんど高齢者となっている。(ただし穂高観光周遊バスは全ての年齢で利用が低調である)。特に75歳以上の後期高齢者でより多くの利用があり、この年代の概ね 5%前後は利用する施策として穂高観光周遊バスを除くいずれかを選択した。各施策と居住地の比較では、その地域を運行する施策がその地域住民から当然ながら高い率で選択されたが、地域内でも居住地によっては路線の遠近に差があるのか利用する率に違いが生じた。ぐるまるくんは「豊科田沢」では 36.1%あるが「豊科」では 11.5%と少ない。市営バスも「明科光」では 39.3%あるが「明科中川手」では 11.3%であった。

〈問 3④利用目的×問 1①性別②年齢③居住地〉

集計 (13)		問3. 利用目的								
問1. 性別	上段: 度数 下段: %	合計	通院	買い物	通学(通園)	習い事(子供の学 習塾など も含む)	通勤	趣味(サークル、 スポーツ など)	総合支所 などへの 用事	その他
	合計	972 100.0	528 54.3	366 37.7	19 2.0	15 1.5	22 2.3	108 11.1	150 15.4	211 21.7
男性	282 100.0	123 43.6	97 34.4	10 3.5	6 2.1	11 3.9	42 14.9	40 14.2	74 26.2	
女性	690 100.0	405 58.7	269 39.0	9 1.3	9 1.3	11 1.6	66 9.6	110 15.9	137 19.9	
問1. 年齢	合計	1118 100.0	621 55.5	435 38.9	19 1.7	21 1.9	22 2.0	119 10.6	171 15.3	238 21.3
	18歳未満	21 100.0	7 33.3	6 28.6	14 66.7	-	-	-	-	1 4.8
	18歳～29歳	6 100.0	6 100.0	3 50.0	-	-	-	-	-	-
	30歳代	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-	-	-
	40、50歳代	11 100.0	1 9.1	4 36.4	-	-	-	-	1 9.1	6 54.5
	60歳～64歳	8 100.0	3 37.5	3 37.5	-	-	-	-	-	2 25.0
	65歳～69歳	201 100.0	87 43.3	79 39.3	-	2 1.0	16 8.0	33 16.4	47 23.4	61 30.3
	70歳～74歳	242 100.0	127 52.5	80 33.1	1 0.4	8 3.3	-	22 9.1	44 18.2	63 26.0
	75歳～79歳	292 100.0	160 54.8	112 38.4	1 0.3	10 3.4	4 1.4	46 15.8	41 14.0	51 17.5
	80歳以上	335 100.0	230 68.7	148 44.2	3 0.9	1 0.3	-	18 5.4	38 11.3	54 16.1
問1. 居住地区	合計	1121 100.0	625 55.8	435 38.8	19 1.7	21 1.9	22 2.0	119 10.6	170 15.2	238 21.2
	豊科南穂高	58 100.0	22 37.9	13 22.4	-	-	-	3 5.2	4 6.9	30 51.7
	豊科光	15 100.0	14 93.3	9 60.0	-	-	-	-	-	-
	豊科田沢	44 100.0	31 70.5	17 38.6	1 2.3	-	-	7 15.9	12 27.3	-
	豊科高家	132 100.0	70 53.0	61 46.2	-	4 3.0	8 6.1	16 12.1	41 31.1	19 14.4
	豊科	104 100.0	36 34.6	34 32.7	-	-	-	20 19.2	16 15.4	31 29.8
	穂高有明	53 100.0	33 62.3	25 47.2	-	3 5.7	-	9 17.0	10 18.9	6 11.3
	穂高北穂高	22 100.0	13 59.1	2 9.1	-	-	-	6 27.3	-	7 31.8
	穂高	74 100.0	22 29.7	6 8.1	1 1.4	1 1.4	-	8 10.8	1 1.4	44 59.5
	穂高柏原	51 100.0	26 51.0	9 17.6	3 5.9	-	-	2 3.9	-	22 43.1
	穂高牧	16 100.0	1 6.3	2 12.5	-	-	-	-	-	15 93.8
	三郷明盛	39 100.0	11 28.2	11 28.2	-	-	-	12 30.8	11 28.2	13 33.3
	三郷温	25 100.0	6 24.0	6 24.0	-	-	-	5 20.0	3 12.0	12 48.0
	三郷小倉	11 100.0	9 81.8	4 36.4	1 9.1	1 9.1	-	-	3 27.3	1 9.1
	堀金鳥川	168 100.0	116 69.0	62 36.9	7 4.2	-	12 7.1	9 5.4	6 3.6	16 9.5
	堀金三田	57 100.0	42 73.7	17 29.8	2 3.5	8 14.0	-	6 10.5	8 14.0	7 12.3
	明科東川手	63 100.0	57 90.5	42 66.7	-	2 3.2	-	5 7.9	11 17.5	1 1.6
	明科中川手	67 100.0	47 70.1	36 53.7	2 3.0	2 3.0	2 3.0	5 7.5	16 23.9	11 16.4
	明科光	34 100.0	21 61.8	23 67.6	-	-	-	3 8.8	12 35.3	1 2.9
	明科七貴	61 100.0	32 52.5	41 67.2	2 3.3	-	-	3 4.9	14 23.0	2 3.3
	明科南陸郷	27 100.0	16 59.3	15 55.6	-	-	-	-	2 7.4	3 11.1

利用目的は、男性女性ともに「買い物」が上位で「通院」がそれに次ぐ。「総合支所など」は女性が男性より率が高く、「趣味など」は男性が女性を上回る。年齢で見ると「買い物」が「通院」を上回るのは「40,50歳代」のみで、(60～64歳は同率)で、通院目的がほとんどの年齢で上位に選択された。「通院」は高齢になるほど選ばれた率も高い。居住地区の関係で見ると「通院」を目的とする選択値が高いのは豊科地域の「豊科光」、三郷地域の「三郷小倉」、堀金地域全般、明科地域の「明科東川手」などとなる。

〈問3⑤交通施策への不満、利用しない理由×問1①性別②年齢③居住地〉

		問3. 交通施策に対する不満、利用しない理由												
上段: 度数 下段: %		合計	便数が少ない	必要な時に行動が制限されない	運行時間乗換が制限される	乗り換えの不便	自宅まで停留所が遠い	目的地まで停留所が遠い	行きたい方面に路線がない	料金が安い	停留所に屋根やベンチがない	高齢者には乗り降りしにくい	特になし	その他
問1. 性別	合計	2904	632	668	478	186	499	168	612	57	74	137	727	547
	男性	1017	189	220	196	70	147	46	182	21	28	37	295	242
	女性	1887	443	448	282	116	352	122	430	36	46	100	432	305
問1. 年齢	合計	3291	711	737	549	204	562	199	691	61	89	154	812	606
	18歳未満	79	13	35	10	6	16	4	17	8	1	-	14	15
	18歳～29歳	28	11	6	7	1	2	8	1	8	1	-	6	7
	30歳代	11	3	5	5	2	2	-	-	-	-	-	4	-
	40, 50歳代	105	21	29	25	4	17	6	22	2	3	-	41	19
	60歳～64歳	69	6	14	10	2	11	3	12	-	-	-	22	22
	65歳～69歳	825	176	155	144	45	113	49	151	3	12	6	241	197
	70歳～74歳	780	165	190	146	44	119	42	185	11	18	11	195	136
	75歳～79歳	725	156	178	128	74	135	38	176	20	26	26	149	110
	80歳以上	669	160	125	74	26	148	55	120	16	29	11	140	100
問1. 居住地区	合計	3301	715	733	550	205	559	199	690	62	89	154	817	610
	豊科南穂高	195	37	49	24	5	31	4	35	-	1	8	69	29
	豊科光	50	13	4	13	-	2	-	4	-	3	4	15	6
	豊科田沢	70	21	27	15	2	7	6	3	3	1	2	18	8
	豊科高家	350	113	93	84	12	49	19	46	1	14	15	92	42
	豊科	422	91	96	74	19	53	26	59	1	15	17	95	92
	穂高有明	354	98	96	64	25	121	38	90	8	8	22	57	71
	穂高北穂高	82	5	21	10	3	23	1	12	-	-	5	21	24
	穂高	329	78	72	52	12	98	30	97	2	17	10	66	58
	穂高柏原	178	9	12	7	5	29	13	39	2	5	4	68	38
	穂高牧	39	10	7	2	1	16	3	3	-	1	10	12	6
	三郷明盛	220	36	39	29	23	35	12	66	8	1	14	78	40
	三郷温	139	27	30	24	15	25	14	34	3	6	4	35	35
	三郷小倉	100	19.4	21.6	17.3	10.8	18.0	10.1	24.5	-	-	0.7	27.3	25.2
	堀金鳥川	44	7	8	13	3	7	-	8	-	-	3	9	10
	堀金三田	253	13	63	39	19	4	1	50	13	2	14	90	37
	明科東川手	90	27	21	12	15	15	13	25	1	-	-	9	10
	明科中川手	166	48	23	27	12	4	1	44	8	7	8	28	43
	明科光	51	17	10	16	9	11	5	4	9	2	8	4	10
	明科七貴	140	45	39	13	15	14	9	47	6	5	9	10	29
明科南陸郷	56	8	7	8	3	13	3	13	-	1	1	10	7	

交通施策への不満、利用しない理由については、男女ともそれぞれ様々な項目が選択され、男性の方が率が高い項目（行動が制限される）や女性の方が高いもの（便数が少ない、行きたい方面に路線がない）もあるが性別により極端に数値が違ったり、傾向が異なるものは見出せない。年齢別では、「便数が少ない」以下「行きたい方面に路線がない」までは全ての年代に共通して選択された不満項目であるが、「料金が安い」、「停留所に屋根やベンチがない」などの料金面、施設面で高齢者の不満が多く、「高齢者には乗り降りしにくい」は80歳以上の回答者からが圧倒的に多かった。居住地区との関係では、「自宅まで停留所が遠い」で「穂高牧」、「穂高有明」、「穂高」など穂高地域で不満が多いが、デマンド方式で運行される堀金地域ではこれへの不満は少ない。また「便数が少ない」不満は明科地域でやや多い。

〈問3⑥継続または運行を望む施策×問1①性別②年齢③居住地〉

問1.性別	上段:度数 下段:%	問3. このまま継続して欲しい。または自分の地域にあれば良いと思う施策						
		合計	ぐるまるくん	うららカー	市営バス(循環バス)	福祉バス	穂高観光周遊バス	特になし
問1.性別	合計	3291	819	476	911	749	340	1015
	100.0	24.9	14.5	27.7	22.8	10.3	30.8	
	男性	1235	306	165	312	269	131	465
問1.性別	100.0	24.8	13.4	25.3	21.8	10.6	37.7	
	女性	2056	513	311	599	480	209	550
問1.性別	100.0	25.0	15.1	29.1	23.3	10.2	26.8	
	合計	3685	908	519	1038	831	390	1119
問1.年齢	100.0	24.6	14.1	28.2	22.6	10.6	30.4	
	18歳未満	100	16	18	23	8	11	48
問1.年齢	100.0	16.0	18.0	23.0	8.0	11.0	48.0	
	18歳～29歳	22	8	5	8	6	5	10
問1.年齢	100.0	36.4	22.7	36.4	27.3	22.7	45.5	
	30歳代	11	3	3	4	6	3	3
問1.年齢	100.0	27.3	27.3	36.4	54.5	27.3	27.3	
	40、50歳代	146	51	31	37	32	27	54
問1.年齢	100.0	34.9	21.2	25.3	21.9	18.5	37.0	
	60歳～64歳	93	28	13	32	20	17	24
問1.年齢	100.0	30.1	14.0	34.4	21.5	18.3	25.8	
	65歳～69歳	990	216	116	307	197	109	322
問1.年齢	100.0	21.8	11.7	31.0	19.9	11.0	32.5	
	70歳～74歳	889	245	138	266	208	99	222
問1.年齢	100.0	27.6	15.5	29.9	23.4	11.1	25.0	
	75歳～79歳	707	199	108	197	168	71	173
問1.年齢	100.0	28.1	15.3	27.9	23.8	10.0	24.5	
	80歳以上	727	142	87	164	186	48	263
問1.年齢	100.0	19.5	12.0	22.6	25.6	6.6	36.2	
	合計	3689	910	524	1039	837	390	1113
問1.居住地	100.0	24.7	14.2	28.2	22.7	10.6	30.2	
	豊科南穂高	198	111	15	14	25	4	68
問1.居住地	100.0	56.1	7.6	7.1	12.6	2.0	34.3	
	豊科光	59	34	-	11	4	-	16
問1.居住地	100.0	57.6	-	-	18.6	6.8	-	
	豊科田沢	87	64	9	13	8	2	14
問1.居住地	100.0	73.6	10.3	14.9	9.2	2.3	16.1	
	豊科高家	378	245	21	47	31	18	96
問1.居住地	100.0	64.8	5.6	12.4	8.2	4.8	25.4	
	豊科	473	257	49	61	62	31	167
問1.居住地	100.0	54.3	10.4	12.9	13.1	6.6	35.3	
	穂高有明	410	16	24	147	123	94	139
問1.居住地	100.0	3.9	5.9	35.9	30.0	22.9	33.9	
	穂高北穂高	68	-	1	19	18	9	34
問1.居住地	100.0	1.5	1.5	19.1	26.5	13.2	50.0	
	穂高	400	39	25	140	134	114	134
問1.居住地	100.0	9.8	6.3	35.0	33.5	28.5	33.5	
	穂高柏原	198	31	14	56	47	17	87
問1.居住地	100.0	15.7	7.1	28.3	23.7	8.6	43.9	
	穂高牧	50	2	-	13	10	2	23
問1.居住地	100.0	4.0	-	26.0	20.0	4.0	46.0	
	三郷明盛	233	20	18	52	88	27	100
問1.居住地	100.0	8.6	7.7	22.3	37.8	11.6	42.9	
	三郷温	139	8	11	48	54	6	51
問1.居住地	100.0	5.8	7.9	34.5	38.8	4.3	36.7	
	三郷小倉	42	3	9	10	20	2	11
問1.居住地	100.0	7.1	21.4	23.8	47.6	4.8	26.2	
	堀金鳥川	308	13	227	42	37	14	60
問1.居住地	100.0	4.2	73.7	13.6	12.0	4.5	19.5	
	堀金三田	92	9	79	13	29	4	11
問1.居住地	100.0	9.8	85.9	14.1	31.5	4.3	12.0	
	明科東川手	114	5	2	87	24	12	14
問1.居住地	100.0	4.4	1.8	76.3	21.1	10.5	12.3	
	明科中川手	174	19	10	99	40	19	49
問1.居住地	100.0	10.9	5.7	56.9	23.0	10.9	28.2	
	明科光	68	19	2	50	11	4	11
問1.居住地	100.0	27.9	2.9	73.5	16.2	5.9	16.2	
	明科七貴	145	14	6	89	50	10	20
問1.居住地	100.0	9.7	4.1	61.4	34.5	6.9	13.8	
	明科南陸郷	53	-	2	34	22	1	8
問1.居住地	100.0	-	3.8	64.2	41.5	1.9	15.1	

継続または運行が望まれる交通施策の選択について性別による傾向の違いは見られない。年齢別でも全般に「ぐるまるくん」や「市営バス」、「福祉バス」の選択が多く、特に年代の違いによる特徴は見出し得ないが「穂高観光周遊バス」のみは30歳代や18～29歳の若年層に多く支持され、高齢者からは少ない。居住地の関係では、その地域を運行するバス等がその地域住民に最も多く支持されているが、とりわけ支持された率が高いのは堀金地域を運行する「うららカー」(堀金三田 85.9%。堀金鳥川 73.7%)と「市営バス(循環バス)」の明科地域全般の地区である。「ぐるまるくん」の豊科地域がそれに次いでいる。

(問 4①利用料金(周辺地域の移動)×問 1①性別②年齢③居住地)

集計 (16)

		問4. 新しい交通システムの利用料金(周辺地域の移動)						
上段: 度数 下段: %		合計	1回200円 以下なら 利用	1回300円 以下なら 利用	1回400円 以下なら 利用	1回500円 以下なら 利用	今は利用 しないが 将来は 利用した い	利用しな い
問1. 性別	合計	5514	2200	633	44	88	1817	732
	男性	100.0	39.9	11.5	0.8	1.6	33.0	13.3
	女性	3536	1515	416	22	69	1067	447
問1. 年齢	合計	6186	2453	735	51	109	2023	815
	18歳未満	121	79	3	-	-	17	21
	18歳～29歳	100.0	65.3	2.5	-	0.8	14.0	17.4
	30歳代	21	9	1	-	-	6	5
	40、50歳代	100.0	42.9	4.8	-	-	28.6	23.8
	60歳～64歳	132	52	17	-	0.4	43.0	8.9
	65歳～69歳	1623	585	156	12	12	702	156
	70歳～74歳	1471	622	166	8	16	524	135
	75歳～79歳	1214	423	113	0.5	1.1	35.6	9.2
	80歳以上	1333	495	197	15	62	260	304
問1. 居住地区	合計	6206	2457	739	51	109	2034	816
	豊科南穂高	334	147	20	1	2	99	65
	豊科光	94	43	10	-	-	30	11
	豊科田沢	130	71	11	-	-	39	9
	豊科高家	559	244	25	-	15	187	88
	豊科	766	283	51	3	14	282	133
	穂高有明	681	289	74	6	17	224	71
	穂高北穂高	179	65	24	2	3	50	35
	穂高	755	275	87	10	12	269	102
	穂高柏原	375	150	42	1	6	127	49
	穂高牧	100.0	40.0	11.2	0.3	1.6	33.0	13.1
	三郷明盛	87	21	9	-	5	33	19
	三郷温	451	178	45	6	8	153	61
	三郷小倉	299	95	35	2	3	126	38
	堀金鳥川	100.0	31.8	11.7	0.7	1.0	42.1	12.7
	堀金三田	80	26	14	6	8	26	8
	明科東川手	100.0	32.5	17.5	7.5	-	32.5	10.0
	明科中川手	404	132	124	2	8	103	35
	明科光	100.0	32.7	30.7	0.5	2.0	25.5	8.7
	明科七貴	147	41	52	3	1	40	10
明科南陸郷	100.0	27.9	35.4	2.0	0.7	27.2	6.9	
	164	65	33	-	5	41	20	
	100.0	39.6	20.1	-	3.0	25.0	12.2	
	280	136	26	2	4	83	29	
	100.0	48.6	9.3	0.7	1.4	29.6	10.4	
	88	41	14	-	1	23	9	
	100.0	46.6	15.9	-	1.1	26.1	10.2	
	231	114	15	7	1	74	20	
	100.0	49.4	6.5	3.0	0.4	32.0	8.7	
	102	41	28	-	4	25	4	
	100.0	40.2	27.5	-	3.9	24.5	3.9	

周辺地域への移動に新しい交通システムを利用する際の1回の料金が、「200円以下」が男性は34.6%、女性では42.8%あり料金については女性がよりシビアであるが、一方で「500円以下」は男性が1.0%に対し、女性が2.0%あるなど少数ではあるがある程度の料金負担をしても利用したい女性がいることがうかがえる。「利用しない」は男性が14.4%で女性(12.6%)を上回った。年齢的に見ると、いずれの年代でも「200円以下」が上位に選択されたが、75歳以上で「300円以下」を選んだ率が若干高くなる。「利用しない」は18歳未満や30歳代に多いが、40歳～74歳までは10%以下と少ない。80歳以上で「利用しない」率が22.8%と高まるが、この年代の中にはそもそも新システムで外出することがもう困難な回答者も多く存在したのかもしれない。居住地別でも「200円以下」の選択がほとんどの地区で上位となったが、「堀金三田」で「300円以下」が上位となった他、「堀金鳥川」でもこの金額を選択した率が高い。「利用しない」率は地域の中でもバラツキがあり、堀金地域は全般に低いが豊科地域の「豊科田沢」や明科地域の「明科南陸郷」、「明科七貴」などが1桁台となった。

(問 4①利用料金(市内全域の移動)×問 1①性別②年齢③居住地)

集計 (1)		問4. 新しい交通システムの利用料金(安曇野市内全域を移動)						
問1. 性別	上段: 度数 下段: %	合計	1回200円以下なら利用	1回300円以下なら利用	1回400円以下なら利用	1回500円以下なら利用	今は利用しないが将来は利用した	利用しない
		合計	5357 100.0	1187 22.2	983 18.3	236 4.4	422 7.9	1775 33.1
	男性	1967 100.0	408 20.7	303 15.4	80 4.1	123 6.3	780 39.7	273 13.9
	女性	3390 100.0	779 23.0	680 20.1	156 4.6	299 8.8	995 29.4	481 14.2
問1. 年齢	合計	5995 100.0	1301 21.7	1093 18.2	264 4.4	507 8.5	1993 33.2	837 14.0
	18歳未満	129 100.0	55 42.6	28 21.7	4 3.1	2 1.6	22 17.1	18 14.0
	18歳～29歳	38 100.0	15 39.5	7 18.4	6 15.8	2 5.3	5 13.2	3 7.9
	30歳代	21 100.0	4 19.0	5 23.8	-	-	7 33.3	5 23.8
	40、50歳代	239 100.0	66 27.6	37 15.5	-	7 2.9	105 43.9	24 10.0
	60歳～64歳	129 100.0	14 10.9	23 17.8	8 6.2	14 10.9	56 43.4	14 10.9
	65歳～69歳	1617 100.0	331 20.5	274 16.9	60 3.7	97 6.0	708 43.8	147 9.1
	70歳～74歳	1449 100.0	309 21.3	264 18.2	82 5.7	107 7.4	531 36.6	156 10.8
	75歳～79歳	1146 100.0	256 22.3	217 18.9	65 5.7	115 10.0	339 29.6	154 13.4
	80歳以上	1227 100.0	251 20.5	238 19.4	39 3.2	163 13.3	220 17.9	316 25.8
問1. 居住地	合計	6008 100.0	1306 21.7	1094 18.2	264 4.4	508 8.5	2001 33.3	835 13.9
	豊科南穂高	336 100.0	90 26.8	54 16.1	6 1.8	12 3.6	109 32.4	65 19.3
	豊科光	78 100.0	15 19.2	14 17.9	-	10 12.8	31 39.7	8 10.3
	豊科田沢	122 100.0	47 38.5	25 20.5	-	6 4.9	29 23.8	15 12.3
	豊科高家	547 100.0	147 26.9	73 13.3	7 1.3	35 6.4	177 32.4	108 19.7
	豊科	751 100.0	171 22.8	114 15.2	20 2.7	37 4.9	282 37.5	127 16.9
	穂高有明	691 100.0	152 22.0	141 20.4	25 3.6	68 9.8	237 34.3	68 9.8
	穂高北穂高	177 100.0	33 18.6	33 18.6	2 1.1	15 8.5	55 31.1	39 22.0
	穂高	717 100.0	173 24.1	124 17.3	31 4.3	55 7.7	227 31.7	107 14.9
	穂高柏原	361 100.0	85 23.5	60 16.6	19 5.3	23 6.4	122 33.8	52 14.4
	穂高牧	89 100.0	11 12.4	14 15.7	1 1.1	14 15.7	26 29.2	23 25.8
	三郷明盛	437 100.0	92 21.1	59 13.5	24 5.5	39 8.9	167 38.2	56 12.8
	三郷温	278 100.0	40 14.4	34 12.2	13 4.7	32 11.5	119 42.8	40 14.4
	三郷小倉	78 100.0	10 12.8	12 15.4	11 14.1	3 3.8	30 38.5	12 15.4
	堀金鳥川	392 100.0	56 14.3	116 29.6	29 7.4	53 13.5	99 25.3	39 9.9
	堀金三田	141 100.0	19 13.5	48 34.0	3 2.1	28 19.9	36 25.5	7 5.0
	明科東川手	143 100.0	27 18.9	30 21.0	11 7.7	22 15.4	37 25.9	16 11.2
	明科中川手	279 100.0	60 21.5	64 22.9	20 7.2	21 7.5	87 31.2	27 9.7
	明科光	89 100.0	23 25.8	20 22.5	9 10.1	3 3.4	27 30.3	7 7.9
	明科七貴	211 100.0	44 20.9	39 18.5	16 7.6	17 8.1	81 38.4	14 6.6
明科南陸郷	91 100.0	11 12.1	20 22.0	17 18.7	15 16.5	23 25.3	5 5.5	

市内全域で新しい交通システムを利用する場合の1回の利用料金は、周辺地域のみを移動する場合と比べて「200円以下」を選択した率が下がるがそれでも第1順位で選ばれた。周辺地域のみを移動よりも「利用しない」率は若干高まり、それも女性にその傾向が強い。(男性 14.4%→14.1%)、(女性 12.6%→14.2%)、年齢別では「200円以下」が大部分の年代で第1順位となったが、「30歳代」および「60～64歳」では「300円以下」の方が数値が高い。「80歳以上」では周辺地域のみを移動よりも「利用しない」率が高まった。(22.8%→25.8%) 居住地別では「300円以下」が「200円以下」を上回るのは、「穂高牧」、「三郷小倉」、「堀金鳥川」、「堀金三田」、「明科東川手」、「明科中川手」、「明科南陸郷」などの周辺地区である。明科地域、堀金地域は全般に「利用しない」率も低い。